

I 調査概要

1 調査の目的

医療・介護・福祉に携わる皆様が、在宅医療や介護について、どのようなお考えをお持ちであるかをお聞きすることで、今後の在宅医療と介護の連携推進の参考とさせていただきますため、本アンケート調査を実施することになりました。

2 調査の対象

本アンケートの対象は、市内の事業所等で勤務又は活動している医師・歯科医師・看護師（准看護師含む）・保健師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護支援専門員・社会福祉士・介護福祉士（初任者研修修了者含む）・救急救命士・民生委員です。

3 調査の方法

郵送による配布・インターネット回答による回収

4 調査の期間

令和5年8月30日～令和5年9月22日

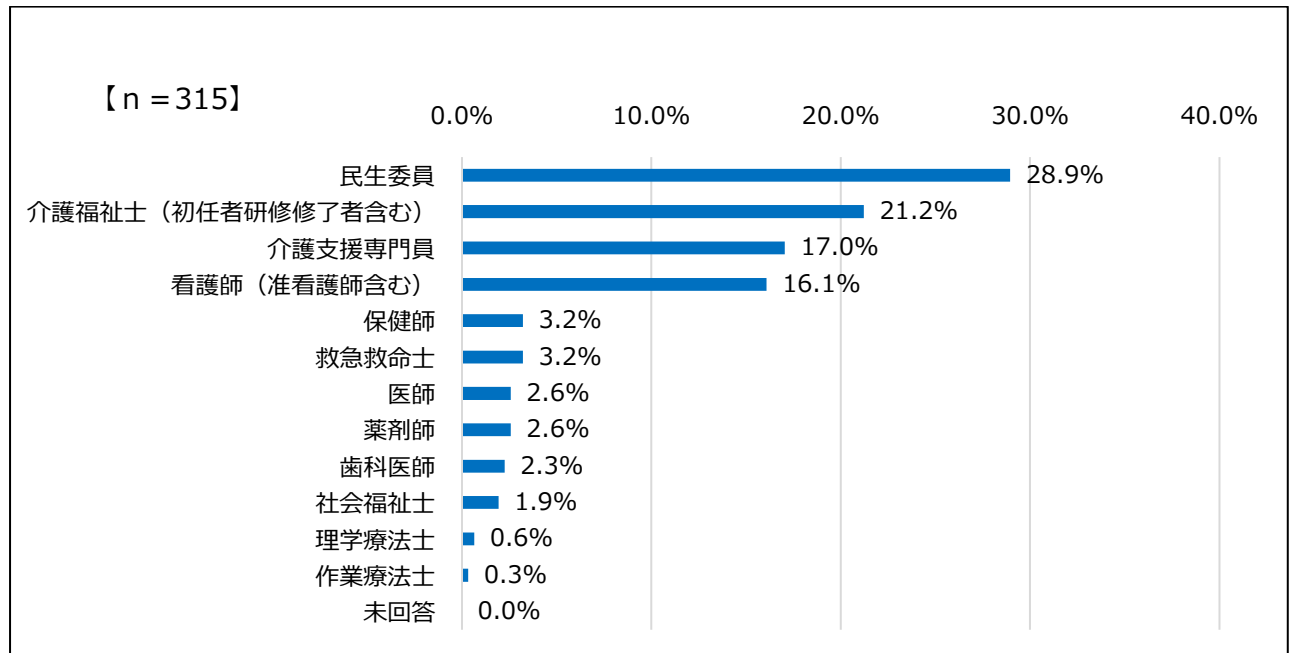
5 配付・回収状況

	配付箇所数	回収数	有効回答数
専門職	198箇所	315件	315件

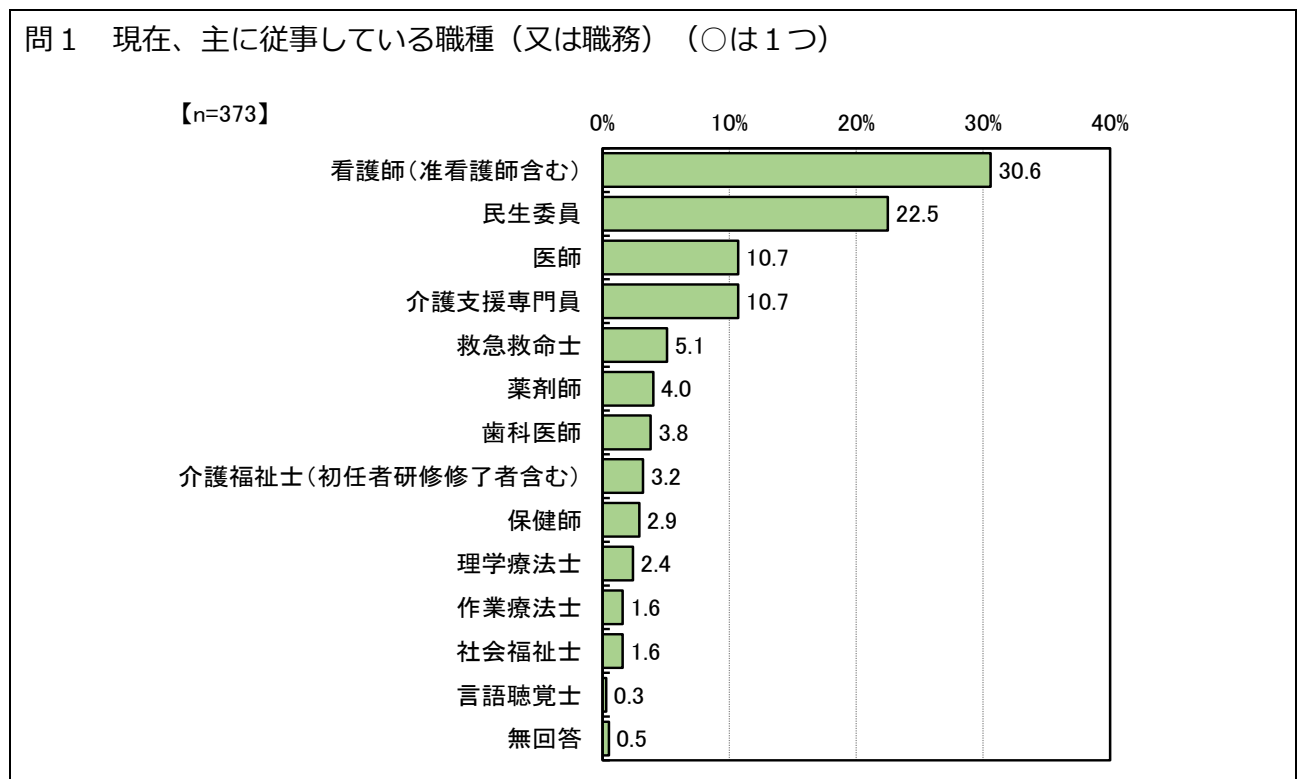
Ⅱ 調査結果

1 回答者について

問1 現在の職種（令和5年度）

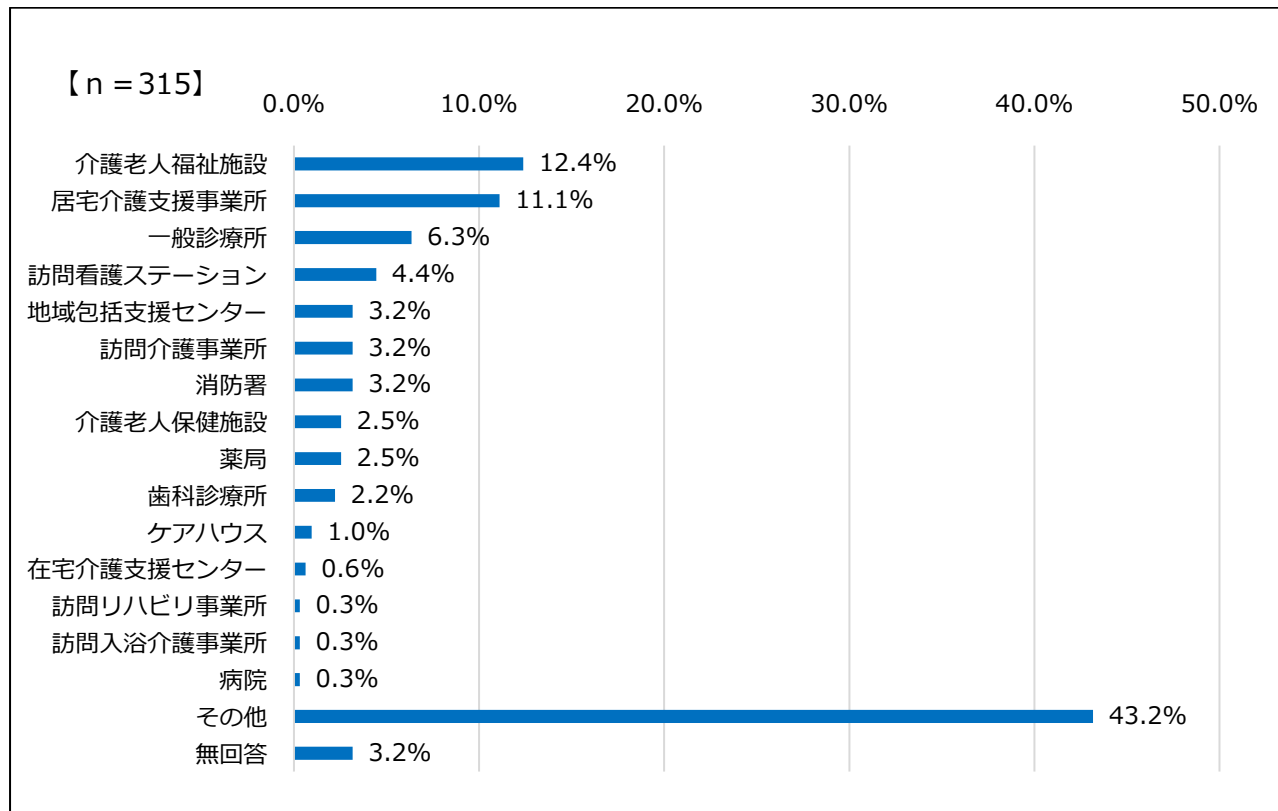


前回調査結果（令和2年度）

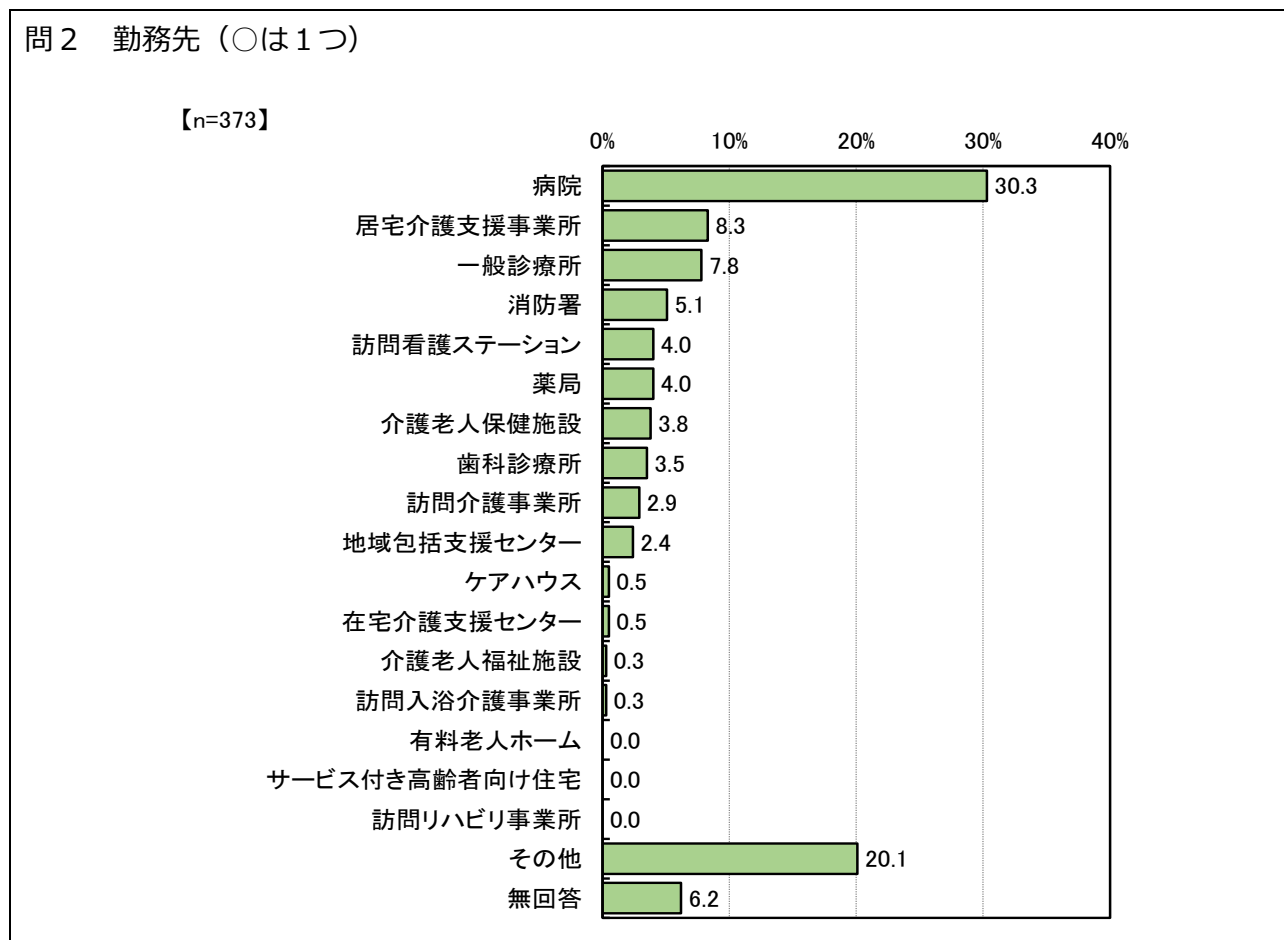


現在の職種は、「看護師（准看護師含む）」が30.6%で最も多く、以下、「民生委員」が22.5%、「医師」、「介護支援専門員」がいずれも10.7%、「救急救命士」が5.1%などとなっています。

問2 勤務先（令和5年度）

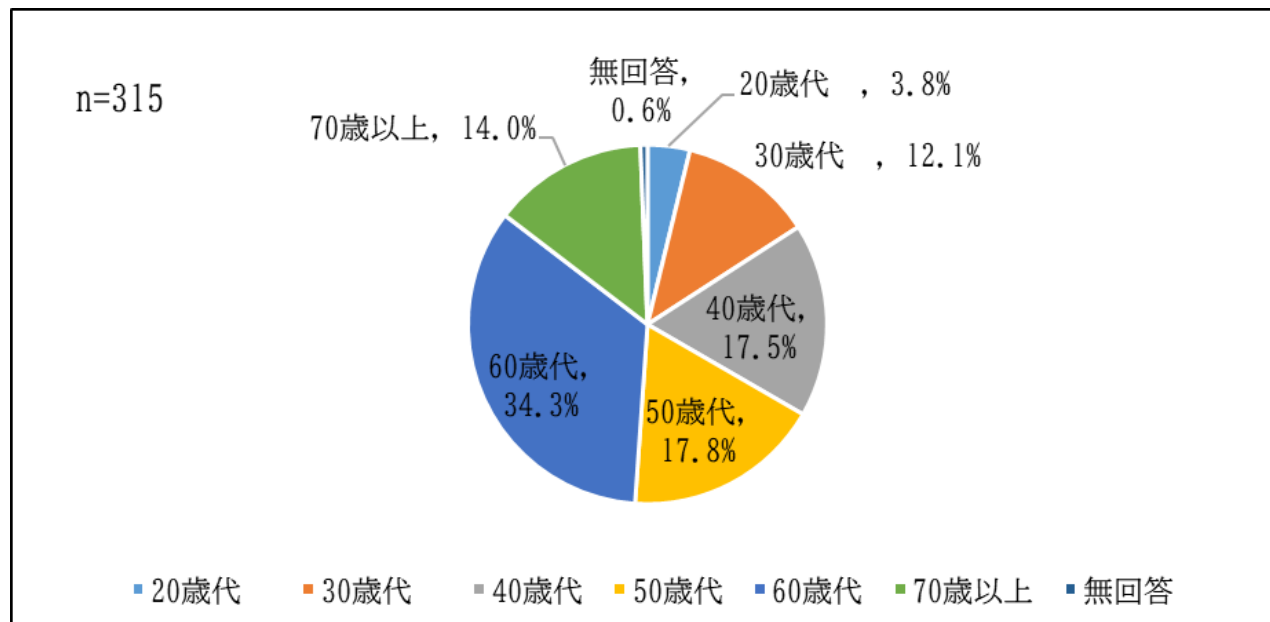


前回調査結果（令和2年度）

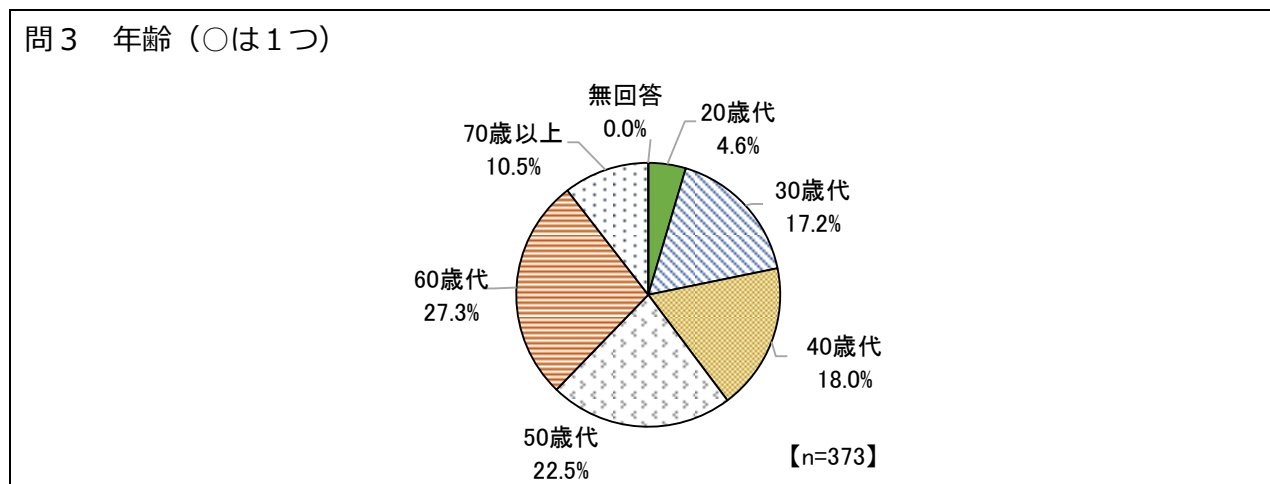


勤務先は、「病院」が30.3%で最も多く、以下、「居宅介護支援事業所」が8.3%、「一般診療所」が7.8%、「消防署」が5.1%などとなっています。

問3 年齢（令和5年度）

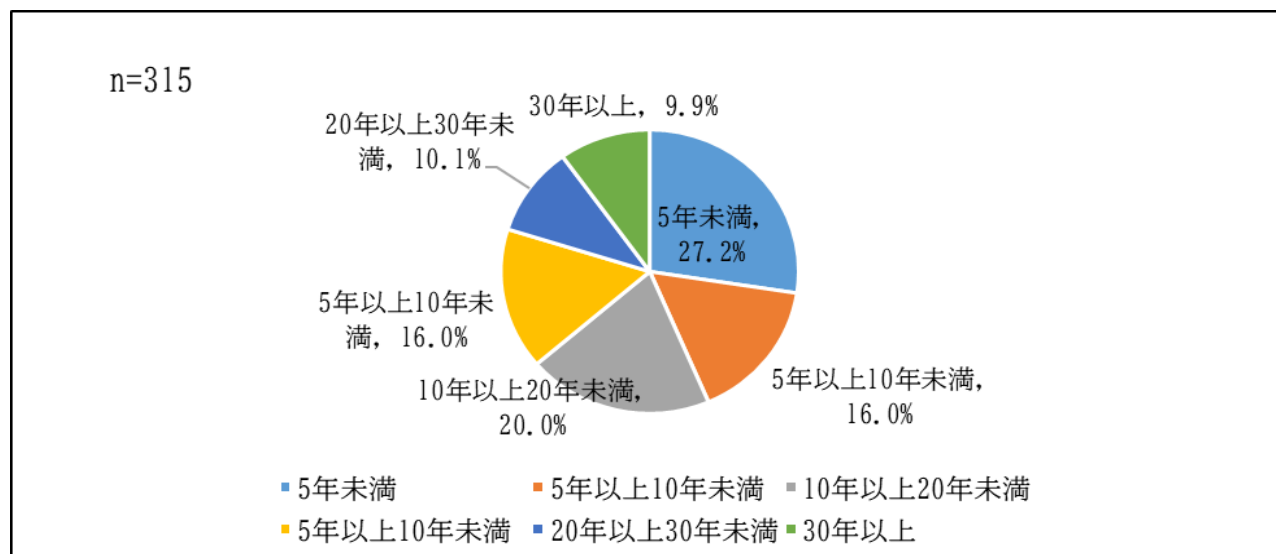


前回調査結果（令和2年度）

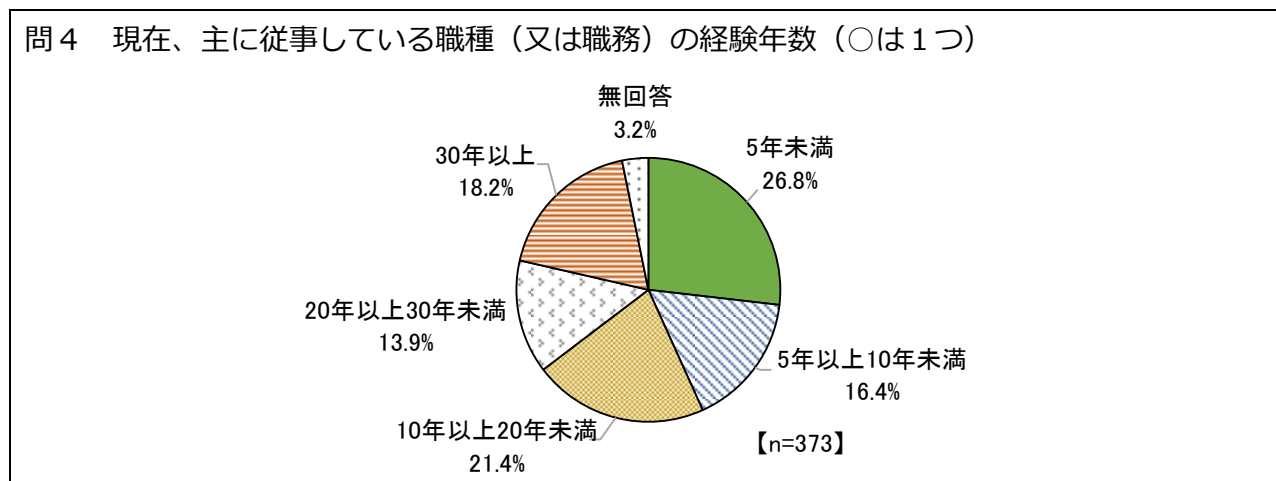


年齢は、「60歳代」が27.3%で最も多く、以下、「50歳代」が22.5%、「40歳代」が18.0%、「30歳代」が17.2%、「70歳以上」が10.5%、「20歳代」が4.6%となっています。

問4 経験年数（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



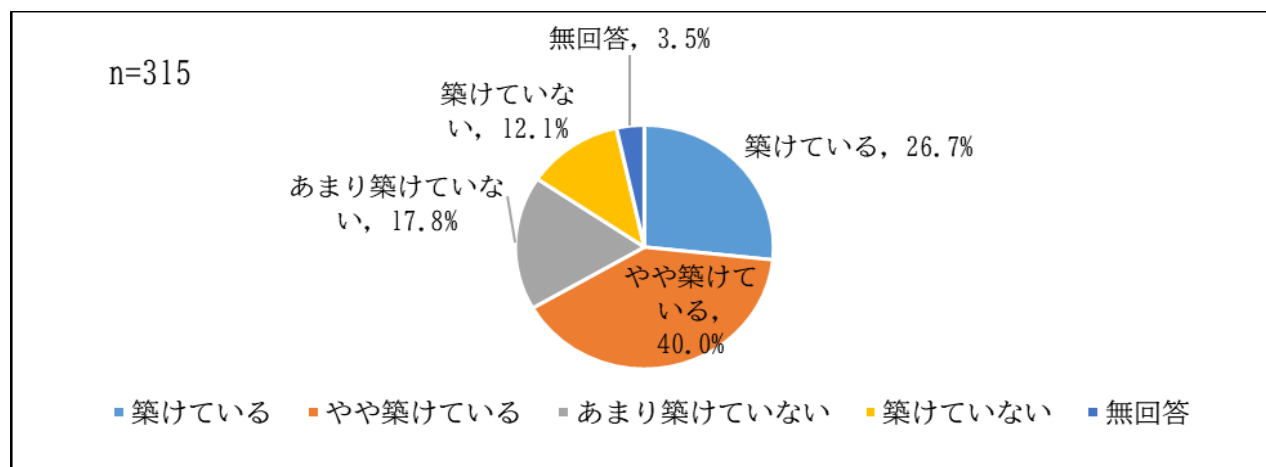
主に従事している職種（又は職務）の経験年数は、「5年未満」が26.8%で最も多く、以下、「10年以上20年未満」が21.4%、「30年以上」が18.2%、「5年以上10年未満」が16.4%、「20年以上30年未満」が13.9%となっています。

職種別回答

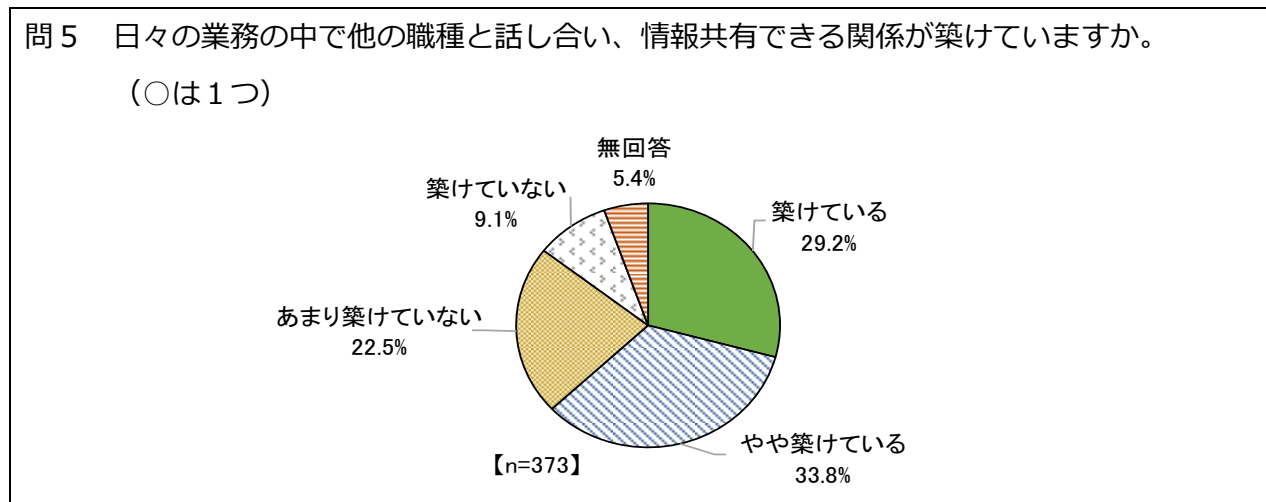
職種・職務	%	経験年数						
		合計	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
全体	373	26.8	16.4	21.4	13.9	18.2	3.2	
医師	40	5.0	15.0	20.0	25.0	35.0	-	
歯科医師	14	-	7.1	7.1	28.6	57.1	-	
看護師(准看護師含む)	114	20.2	13.2	18.4	22.8	25.4	-	
保健師	11	54.5	18.2	18.2	9.1	-	-	
薬剤師	15	6.7	26.7	20.0	-	46.7	-	
理学療法士	9	11.1	11.1	66.7	11.1	-	-	
作業療法士	6	16.7	16.7	66.7	-	-	-	
言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-	
介護支援専門員	40	30.0	22.5	42.5	5.0	-	-	
社会福祉士	6	50.0	16.7	33.3	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	25.0	58.3	16.7	-	-	
救急救命士	19	21.1	42.1	21.1	10.5	5.3	-	
民生委員	84	56.0	11.9	4.8	4.8	10.7	11.9	

2 多職種連携について

問5 他の職種との連携について（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

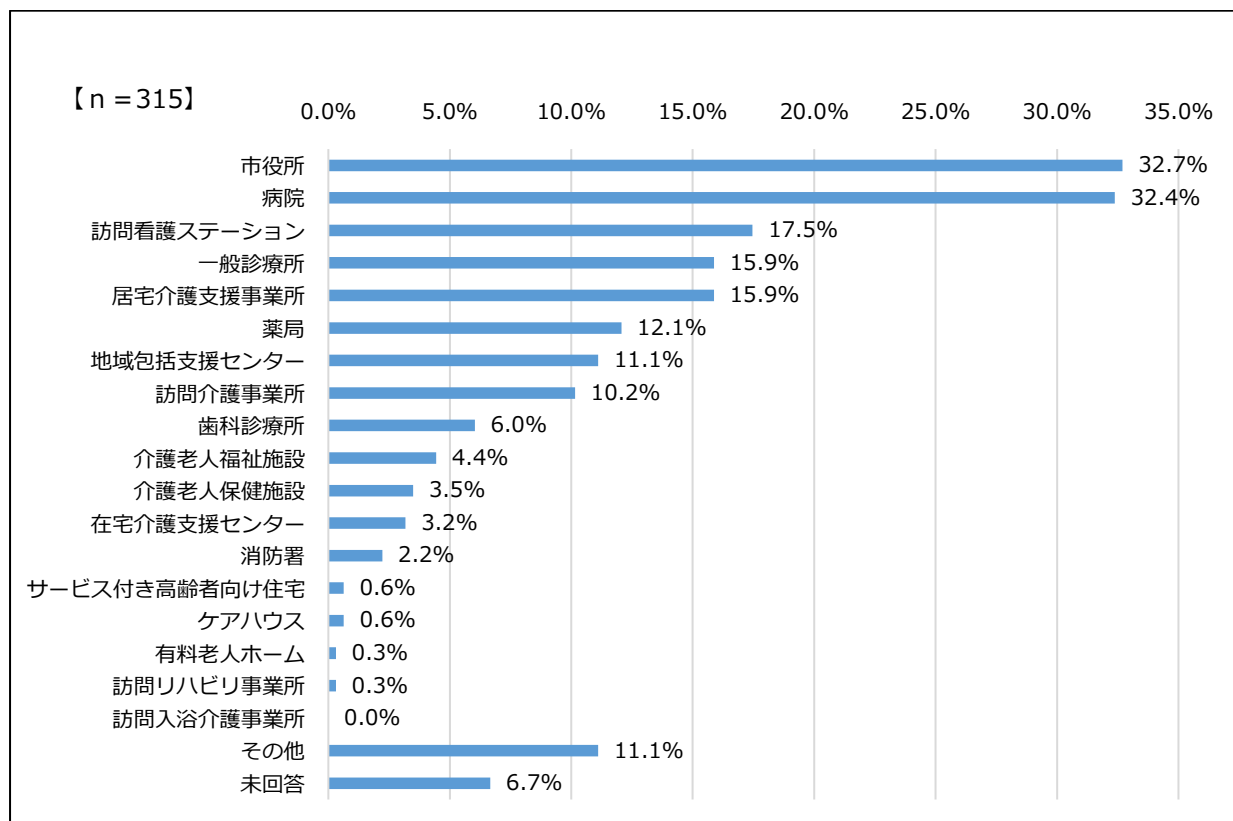


他の職種と話し合い、情報共有できる関係が築けているかをたずねたところ、築けていると回答した割合（「築けている」と「やや築けている」の合計）は63.0%となっています。

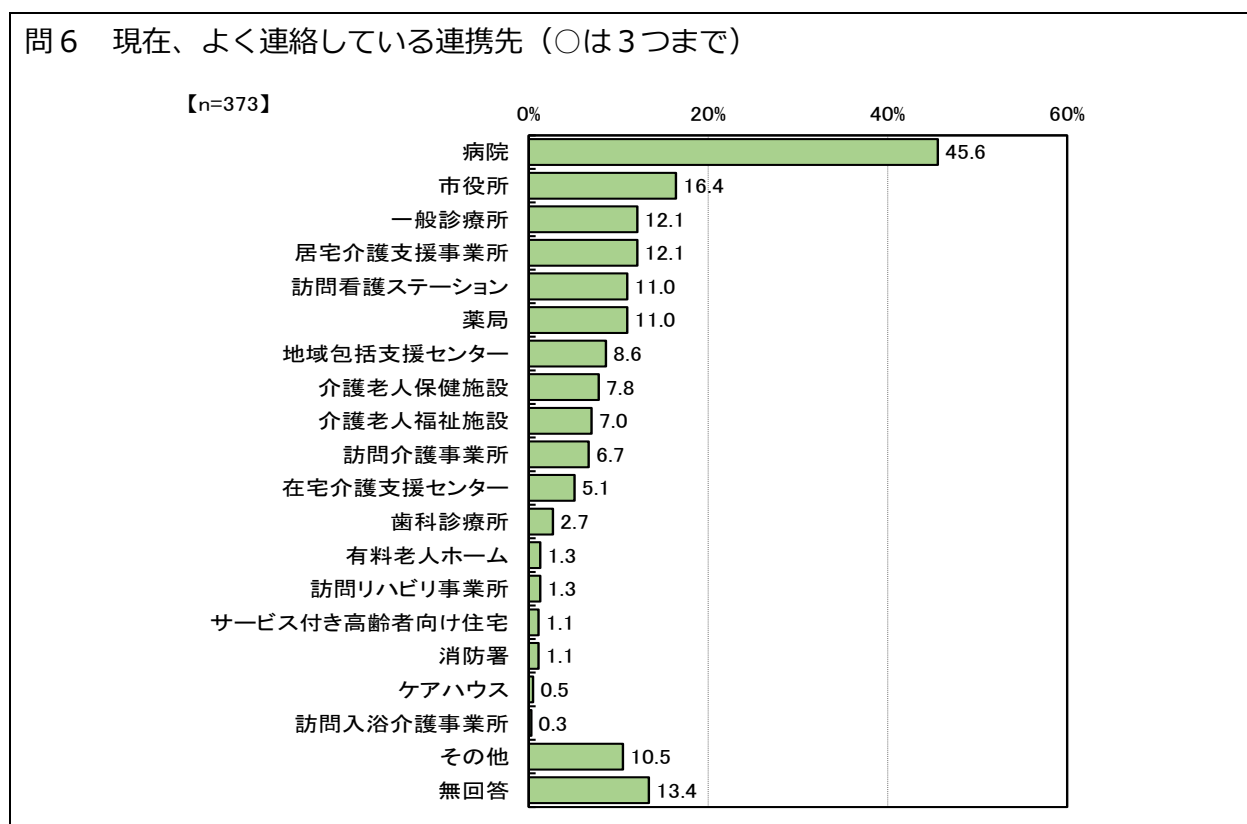
職種別回答

職種・職務	%	割合				
		合計	築けている	やや築けている	あまり築けていない	築けていない
全体	373	29.2	33.8	22.5	9.1	5.4
医師	40	57.5	35.0	5.0	-	2.5
歯科医師	14	14.3	28.6	42.9	14.3	-
看護師(准看護師含む)	114	31.6	35.1	24.6	7.0	1.8
保健師	11	45.5	45.5	-	-	9.1
薬剤師	15	13.3	33.3	40.0	13.3	-
理学療法士	9	33.3	33.3	33.3	-	-
作業療法士	6	16.7	66.7	16.7	-	-
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	-
介護支援専門員	40	37.5	40.0	15.0	5.0	2.5
社会福祉士	6	83.3	16.7	-	-	-
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	16.7	58.3	16.7	8.3	-
救急救命士	19	5.3	26.3	63.2	5.3	-
民生委員	84	16.7	23.8	21.4	20.2	17.9

問6 現在の連携先（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



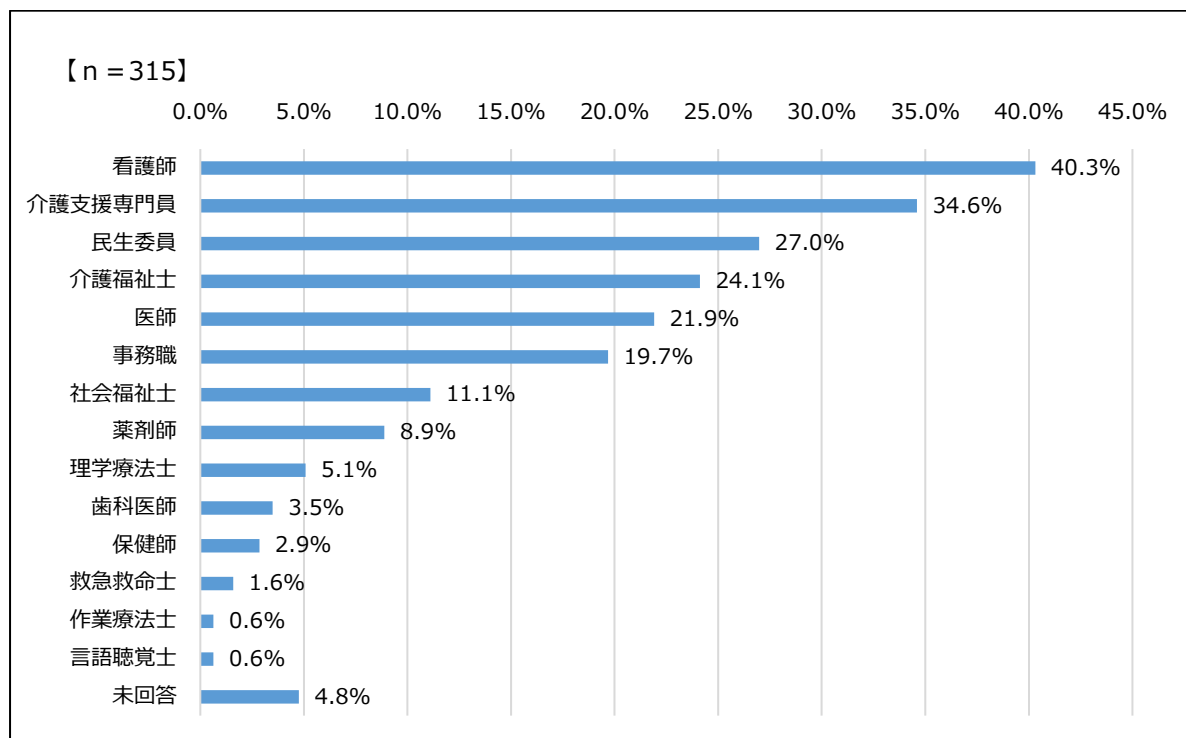
現在の連携先については、「病院」が45.6%で最も多く、以下、「市役所」が16.4%、「一般診療所」、「居宅介護支援事業所」がいずれも12.1%、「訪問看護ステーション」、「薬局」がいずれも11.0%などとなっています。

職種別回答

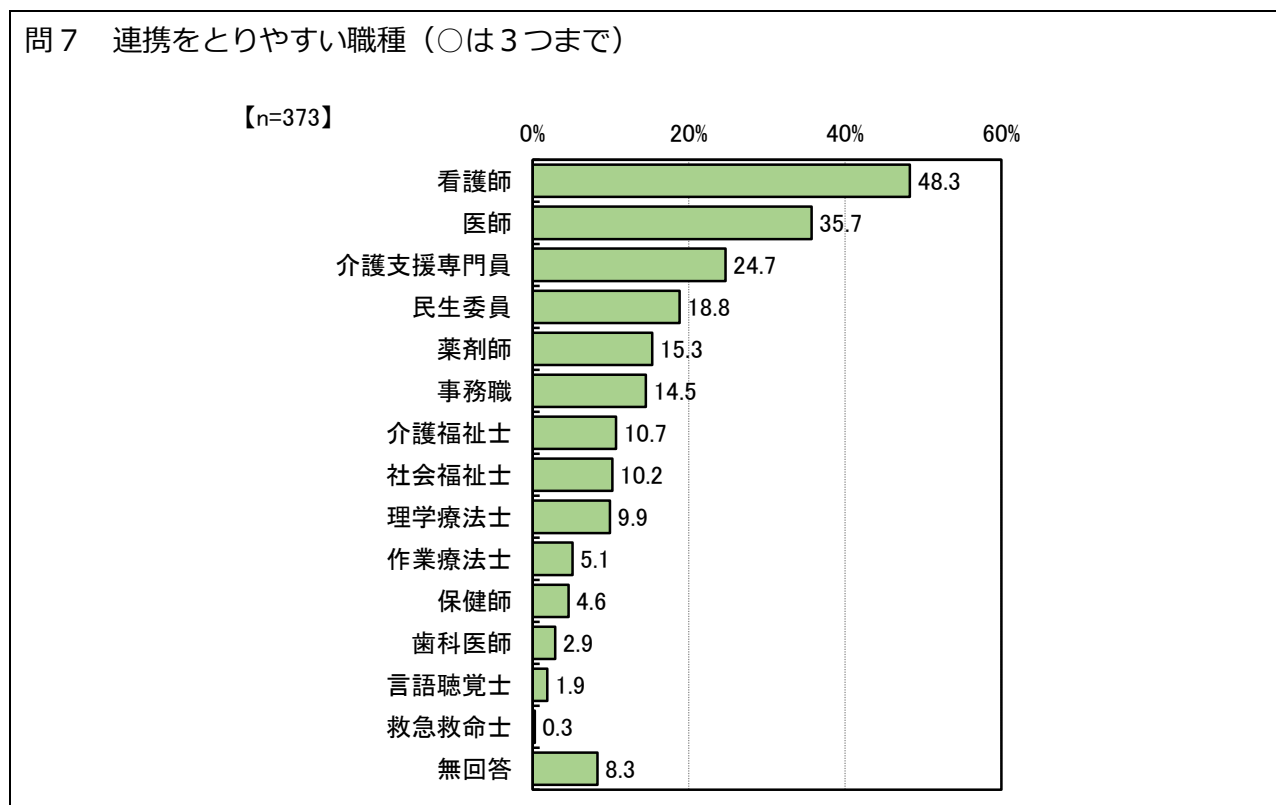
%											
		合計	病院	一般診療所	歯科診療所	訪問看護ステーション	薬局	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅
職種・職務	全体	373	45.6	12.1	2.7	11.0	11.0	7.0	7.8	1.3	1.1
	医師	40	80.0	27.5	5.0	32.5	35.0	12.5	5.0	5.0	-
	歯科医師	14	50.0	35.7	14.3	7.1	-	-	7.1	-	-
	看護師(准看護師含む)	114	54.4	11.4	0.9	10.5	19.3	7.0	4.4	2.6	-
	保健師	11	81.8	27.3	27.3	27.3	-	-	-	-	-
	薬剤師	15	40.0	40.0	6.7	-	20.0	6.7	20.0	-	6.7
	理学療法士	9	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	作業療法士	6	50.0	-	-	-	-	-	16.7	-	-
	言語聴覚士	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護支援専門員	40	50.0	10.0	-	27.5	2.5	15.0	30.0	-	5.0
	社会福祉士	6	100.0	16.7	-	16.7	-	33.3	66.7	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	8.3	-	-	-	-	8.3	-	-	8.3
	救急救命士	19	100.0	5.3	-	-	-	-	-	-	-
	民生委員	84	3.6	1.2	1.2	-	1.2	3.6	1.2	-	-

%													
		合計	ケアハウス	訪問介護事業所	訪問入浴介護事業所	訪問リハビリ事業所	居宅介護支援事業所	地域包括支援センター	在宅介護支援センター	消防署	市役所	その他	無回答
職種・職務	全体	373	0.5	6.7	0.3	1.3	12.1	8.6	5.1	1.1	16.4	10.5	13.4
	医師	40	-	-	-	2.5	5.0	-	2.5	-	5.0	2.5	2.5
	歯科医師	14	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	14.3
	看護師(准看護師含む)	114	-	2.6	-	-	13.2	4.4	0.9	-	1.8	8.8	21.9
	保健師	11	-	-	-	-	27.3	-	18.2	18.2	9.1	18.2	-
	薬剤師	15	-	6.7	-	-	13.3	13.3	13.3	-	-	-	6.7
	理学療法士	9	-	-	-	-	44.4	11.1	11.1	-	-	22.2	33.3
	作業療法士	6	-	-	-	16.7	50.0	-	-	-	-	16.7	-
	言語聴覚士	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	介護支援専門員	40	-	47.5	2.5	7.5	5.0	17.5	2.5	-	7.5	22.5	-
	社会福祉士	6	-	-	-	-	50.0	-	16.7	-	-	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	16.7	8.3	-	-	50.0	33.3	16.7	-	-	-	8.3
	救急救命士	19	-	5.3	-	-	-	-	-	-	21.1	-	-
	民生委員	84	-	-	-	-	2.4	15.5	8.3	2.4	58.3	16.7	20.2

問7 連携をとりやすい職種（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



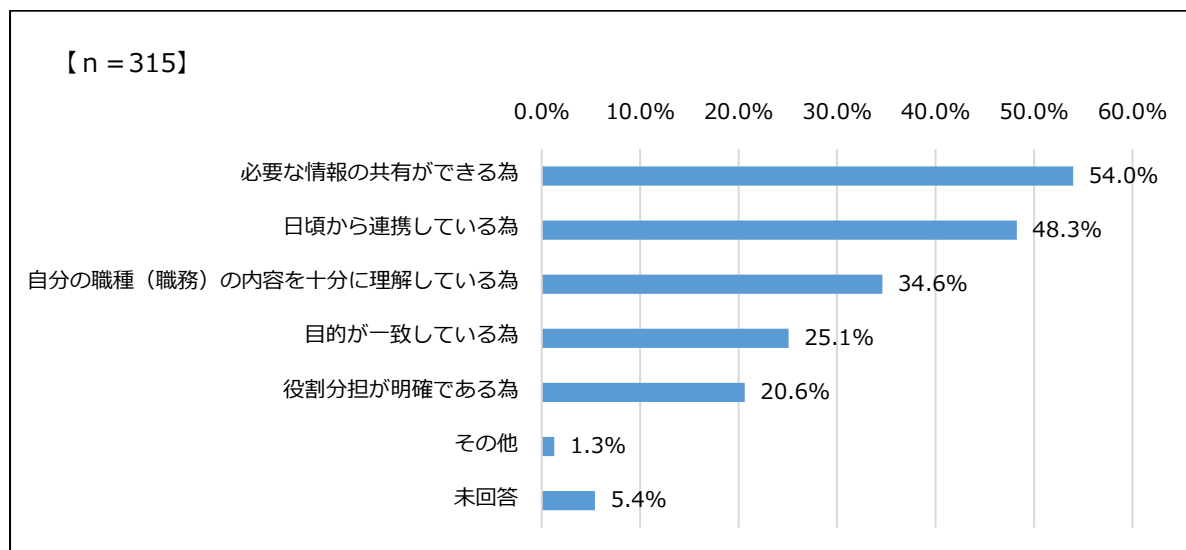
連携をとりやすい職種は、「看護師」が48.3%で最も多く、以下、「医師」が35.7%、「介護支援専門員」が24.7%、「民生委員」が18.8%、「薬剤師」が15.3%などとなっています。

職種別回答

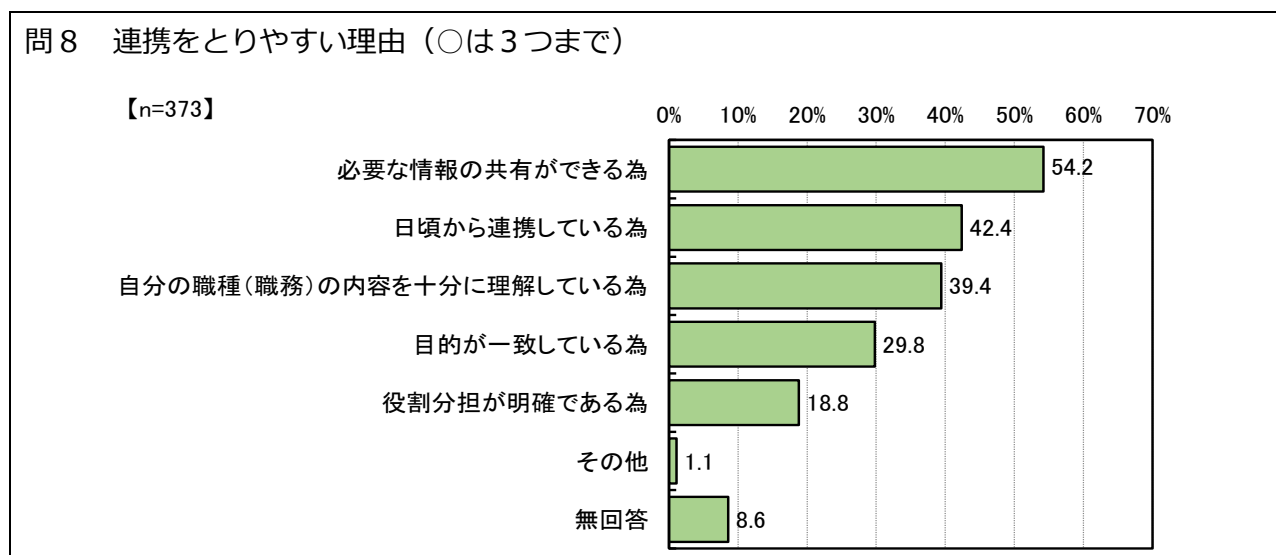
%										
		合計	医師	歯科医師	看護師	保健師	薬剤師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
職種・職務	全体	373	35.7	2.9	48.3	4.6	15.3	9.9	5.1	1.9
	医師	40	80.0	7.5	82.5	5.0	40.0	17.5	5.0	2.5
	歯科医師	14	64.3	28.6	21.4	7.1	-	-	-	-
	看護師(准看護師含む)	114	46.5	-	64.0	2.6	27.2	9.6	7.0	0.9
	保健師	11	18.2	9.1	54.5	36.4	-	-	-	9.1
	薬剤師	15	46.7	13.3	40.0	-	46.7	-	-	-
	理学療法士	9	22.2	-	55.6	-	-	44.4	66.7	11.1
	作業療法士	6	-	-	33.3	-	-	83.3	33.3	33.3
	言語聴覚士	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	介護支援専門員	40	20.0	-	65.0	2.5	5.0	25.0	2.5	-
	社会福祉士	6	50.0	-	83.3	-	-	-	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	救急救命士	19	68.4	-	78.9	-	-	-	-	-
	民生委員	84	4.8	1.2	3.6	7.1	1.2	-	-	-

%									
		合計	介護支援専門員	社会福祉士	介護福祉士	救急救命士	民生委員	事務職	無回答
職種・職務	全体	373	24.7	10.2	10.7	0.3	18.8	14.5	8.3
	医師	40	7.5	7.5	2.5	-	-	20.0	-
	歯科医師	14	21.4	-	-	-	-	7.1	14.3
	看護師(准看護師含む)	114	21.1	2.6	5.3	-	0.9	14.0	10.5
	保健師	11	27.3	45.5	-	-	45.5	27.3	-
	薬剤師	15	33.3	6.7	13.3	-	-	6.7	6.7
	理学療法士	9	33.3	-	33.3	-	-	-	-
	作業療法士	6	66.7	-	16.7	-	-	-	-
	言語聴覚士	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	介護支援専門員	40	47.5	20.0	45.0	-	2.5	2.5	2.5
	社会福祉士	6	66.7	66.7	-	-	16.7	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	66.7	8.3	25.0	-	-	16.7	16.7
	救急救命士	19	-	-	5.3	-	15.8	5.3	10.5
	民生委員	84	16.7	15.5	6.0	1.2	69.0	25.0	13.1

問8 連携をとりやすい理由（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

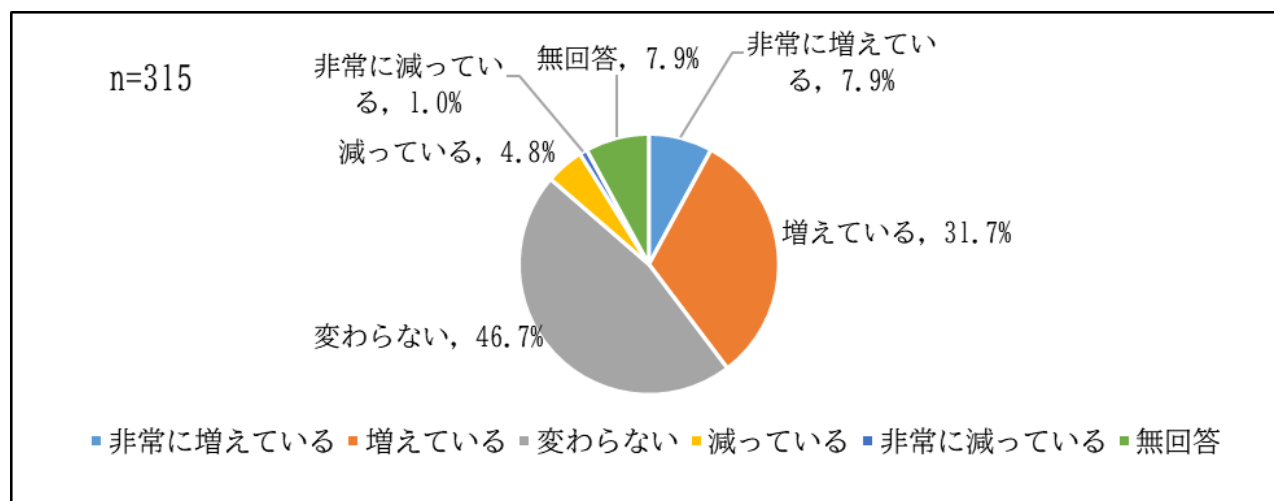


連携をとりやすい理由については、「必要な情報の共有ができる為」が54.2%で最も多く、以下、「日頃から連携している為」が42.4%、「自分の職種（職務）の内容を十分に理解している為」が39.4%、「目的が一致している為」が29.8%、「役割分担が明確である為」が18.8%となっています。

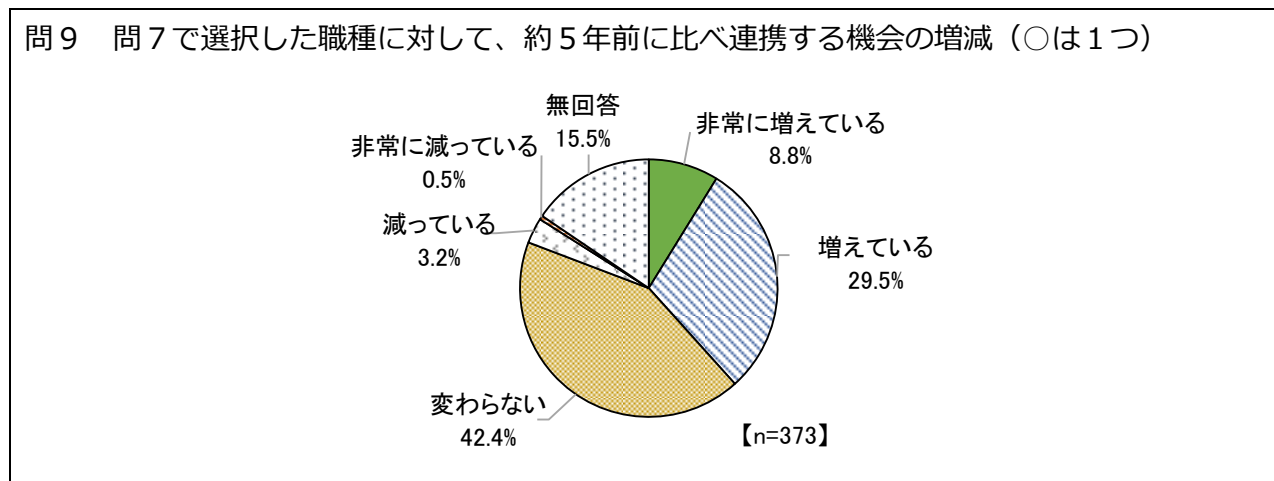
職種別回答

職種・職務	%	理由							
		合計	自分の職種（職務）の内容を十分に理解している為	必要な情報の共有ができる為	役割分担が明確である為	目的が一致している為	日頃から連携している為	その他	無回答
全体	373	39.4	54.2	18.8	29.8	42.4	1.1	8.6	
医師	40	72.5	52.5	15.0	30.0	45.0	-	-	
歯科医師	14	42.9	50.0	21.4	-	28.6	14.3	14.3	
看護師（准看護師含む）	114	44.7	56.1	23.7	17.5	36.8	-	10.5	
保健師	11	18.2	45.5	-	36.4	63.6	-	-	
薬剤師	15	40.0	53.3	13.3	46.7	26.7	-	6.7	
理学療法士	9	-	55.6	22.2	66.7	33.3	-	-	
作業療法士	6	50.0	50.0	50.0	33.3	66.7	-	-	
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
介護支援専門員	40	40.0	72.5	22.5	45.0	45.0	-	2.5	
社会福祉士	6	50.0	100.0	16.7	16.7	83.3	-	-	
介護福祉士（初任者研修修了者含む）	12	33.3	66.7	-	25.0	50.0	-	16.7	
救急救命士	19	26.3	52.6	15.8	52.6	36.8	5.3	5.3	
民生委員	84	26.2	40.5	16.7	32.1	46.4	1.2	14.3	

問9 連携する機会の増減：連携をとりやすい職種（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

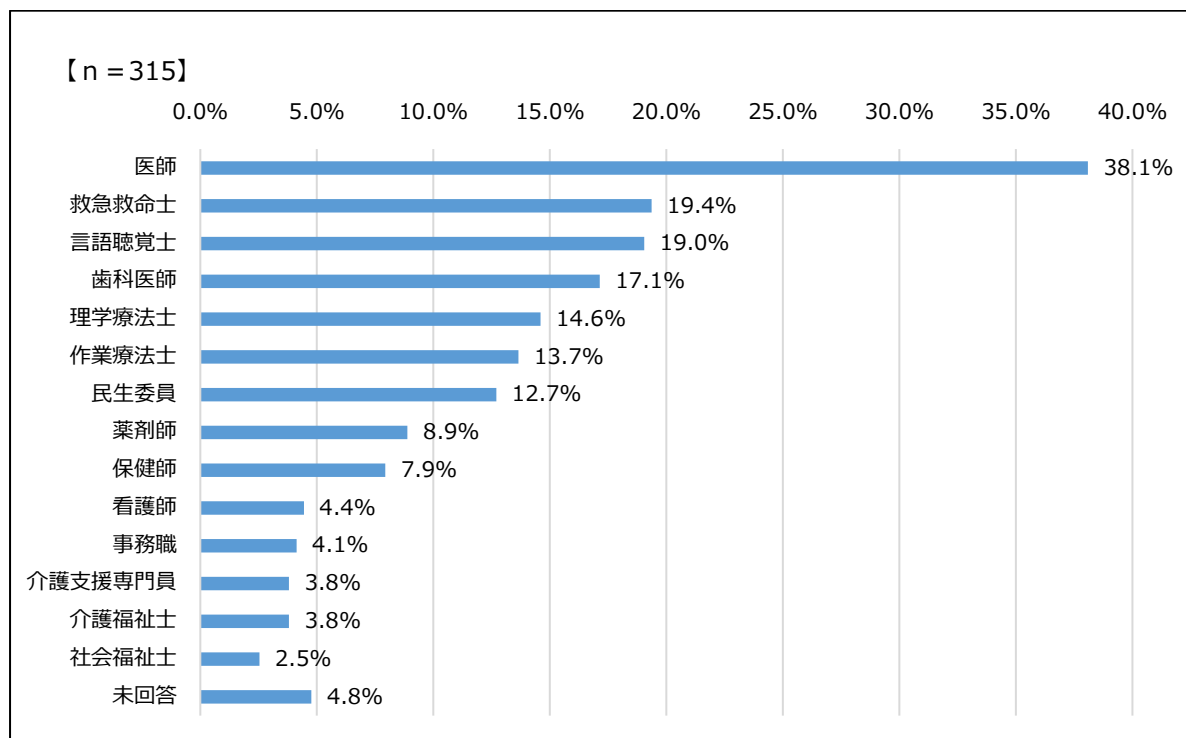


連携をとりやすい職種に対し、約5年前と比べ連携する機会の増減については、「変わらない」が42.4%で最も多く、以下、「増えている」が29.5%、「非常に増えている」が8.8%、「減っている」が3.2%、「非常に減っている」が0.5%となっています。

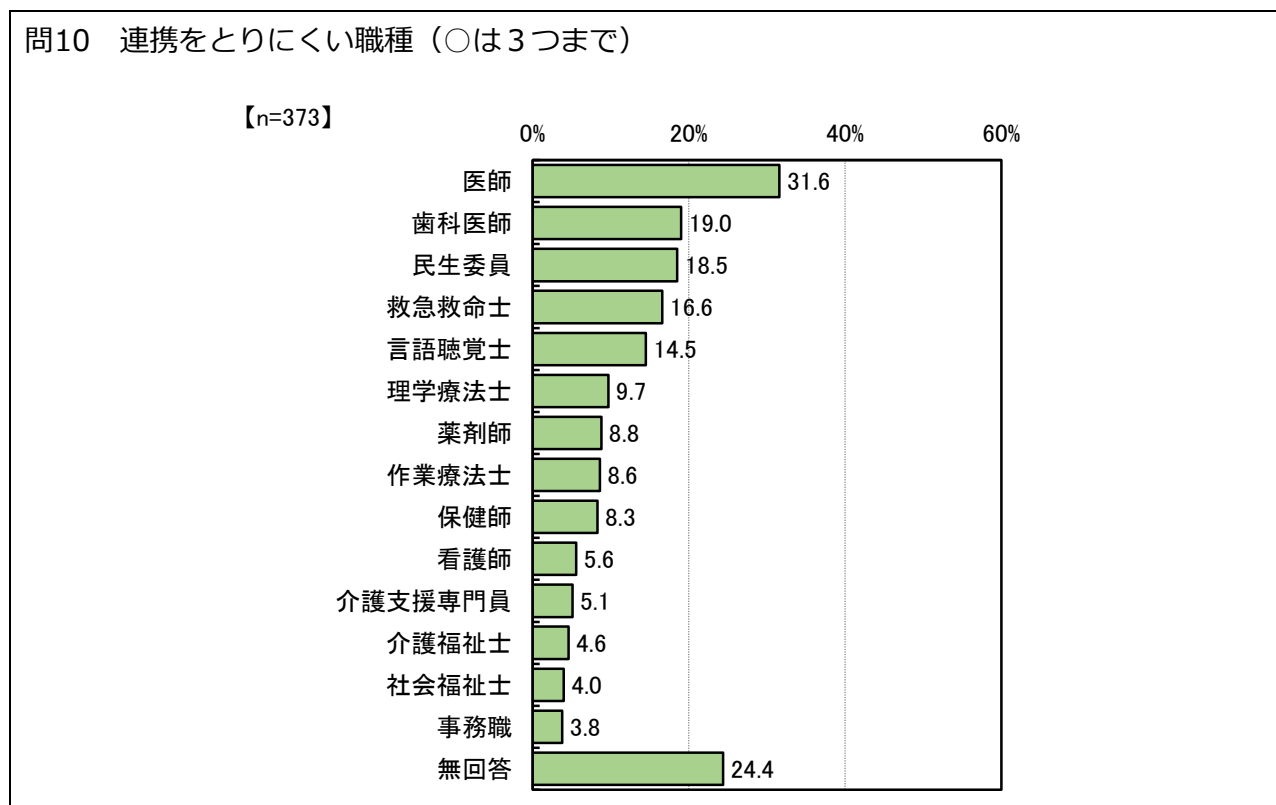
職種別回答

%		増減							
		合計	非常に増えている	増えている	変わらない	減っている	非常に減っている	無回答	
職種・職務	全体	373	8.8	29.5	42.4	3.2	0.5	15.5	
	医師	40	17.5	30.0	50.0	2.5	-	-	
	歯科医師	14	-	14.3	64.3	14.3	-	7.1	
	看護師(准看護師含む)	114	8.8	22.8	46.5	0.9	1.8	19.3	
	保健師	11	-	63.6	18.2	-	-	18.2	
	薬剤師	15	6.7	60.0	26.7	6.7	-	-	
	理学療法士	9	11.1	22.2	55.6	11.1	-	-	
	作業療法士	6	-	50.0	50.0	-	-	-	
	言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-	
	介護支援専門員	40	20.0	40.0	35.0	5.0	-	-	
	社会福祉士	6	16.7	33.3	33.3	-	-	16.7	
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	16.7	16.7	41.7	8.3	-	16.7	
	救急救命士	19	5.3	31.6	52.6	5.3	-	5.3	
	民生委員	84	12	2.4	26.2	35.7	2.4	-	33.3

問10 連携をとりにくい職種（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



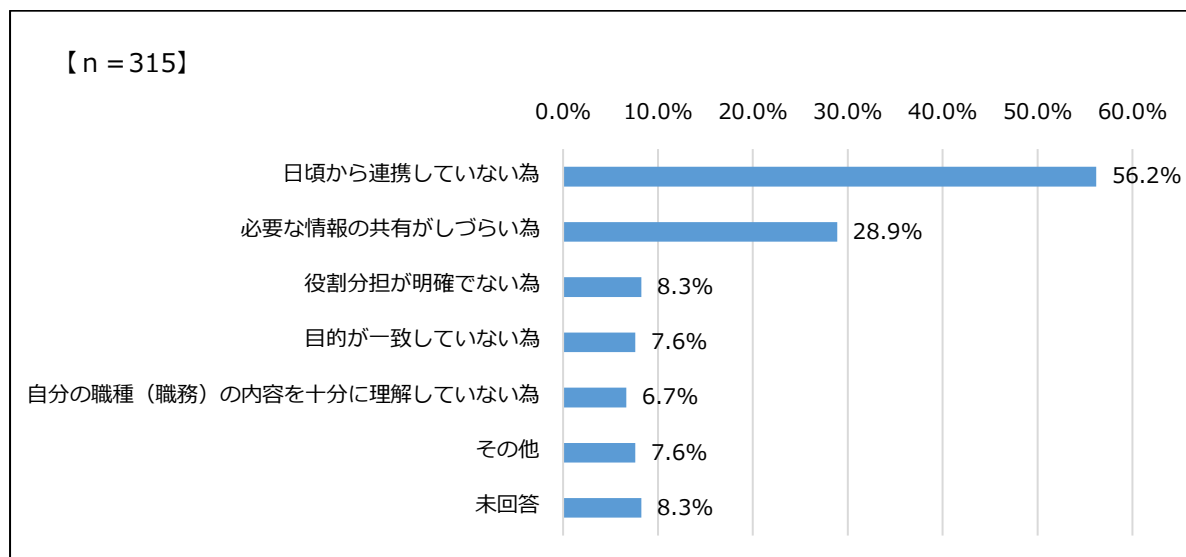
連携をとりにくい職種は、「医師」が31.6%で最も多く、以下、「歯科医師」が19.0%、「民生委員」が18.5%、「救急救命士」が16.6%、「言語聴覚士」が14.5%などとなっています。

職種別回答

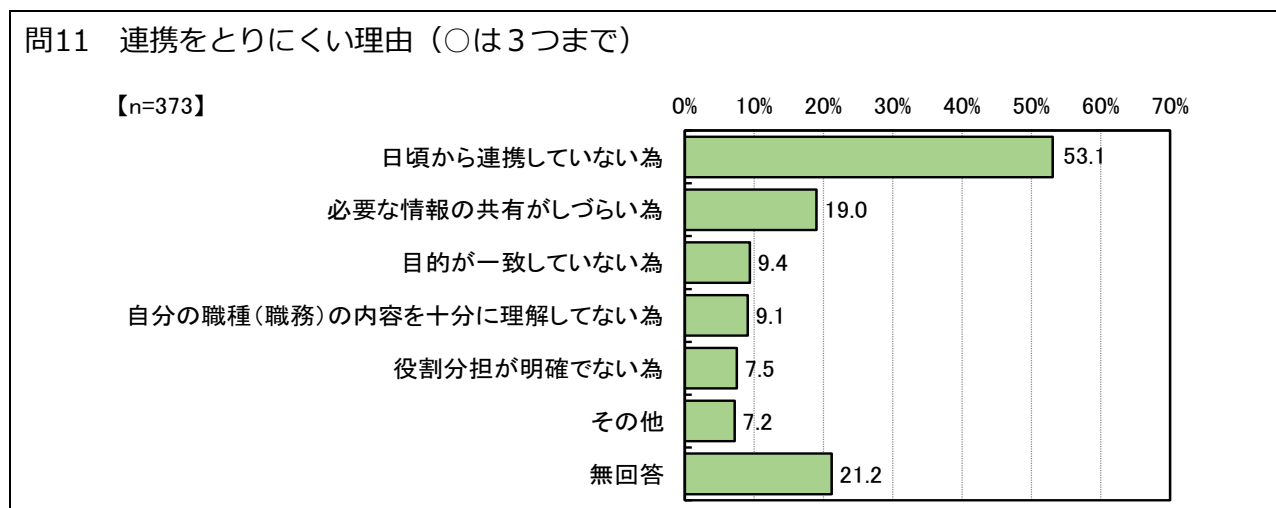
%										
		合計	医師	歯科医師	看護師	保健師	薬剤師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士
職種・職務	全体	373	31.6	19.0	5.6	8.3	8.8	9.7	8.6	14.5
	医師	40	5.0	20.0	-	7.5	2.5	5.0	-	7.5
	歯科医師	14	7.1	-	-	14.3	7.1	14.3	14.3	42.9
	看護師(准看護師含む)	114	24.6	18.4	2.6	7.9	1.8	4.4	3.5	8.8
	保健師	11	36.4	-	-	-	18.2	9.1	9.1	9.1
	薬剤師	15	13.3	20.0	13.3	6.7	-	33.3	26.7	26.7
	理学療法士	9	55.6	-	11.1	22.2	22.2	-	-	-
	作業療法士	6	33.3	50.0	16.7	16.7	33.3	-	-	-
	言語聴覚士	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護支援専門員	40	67.5	25.0	5.0	12.5	12.5	5.0	10.0	7.5
	社会福祉士	6	-	16.7	-	16.7	33.3	-	33.3	33.3
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	66.7	25.0	-	-	-	-	-	16.7
	救急救命士	19	5.3	15.8	5.3	15.8	26.3	42.1	42.1	47.4
	民生委員	84	44.0	22.6	11.9	4.8	13.1	13.1	8.3	16.7

%									無回答
		合計	介護支援専門員	社会福祉士	介護福祉士	救急救命士	民生委員	事務職	
職種・職務	全体	373	5.1	4.0	4.6	16.6	18.5	3.8	24.4
	医師	40	7.5	15.0	20.0	17.5	37.5	-	27.5
	歯科医師	14	21.4	14.3	14.3	28.6	50.0	-	28.6
	看護師(准看護師含む)	114	3.5	0.9	2.6	13.2	18.4	7.9	28.9
	保健師	11	-	-	-	36.4	9.1	-	36.4
	薬剤師	15	6.7	-	-	26.7	20.0	6.7	13.3
	理学療法士	9	-	-	-	22.2	11.1	11.1	-
	作業療法士	6	-	-	-	50.0	50.0	-	-
	言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	介護支援専門員	40	-	2.5	-	22.5	30.0	-	5.0
	社会福祉士	6	16.7	-	-	33.3	33.3	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	-	-	8.3	16.7	-	25.0
	救急救命士	19	10.5	5.3	10.5	-	5.3	10.5	5.3
	民生委員	84	6.0	4.8	1.2	13.1	-	1.2	35.7

問 1 1 連携をとりにくい理由（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

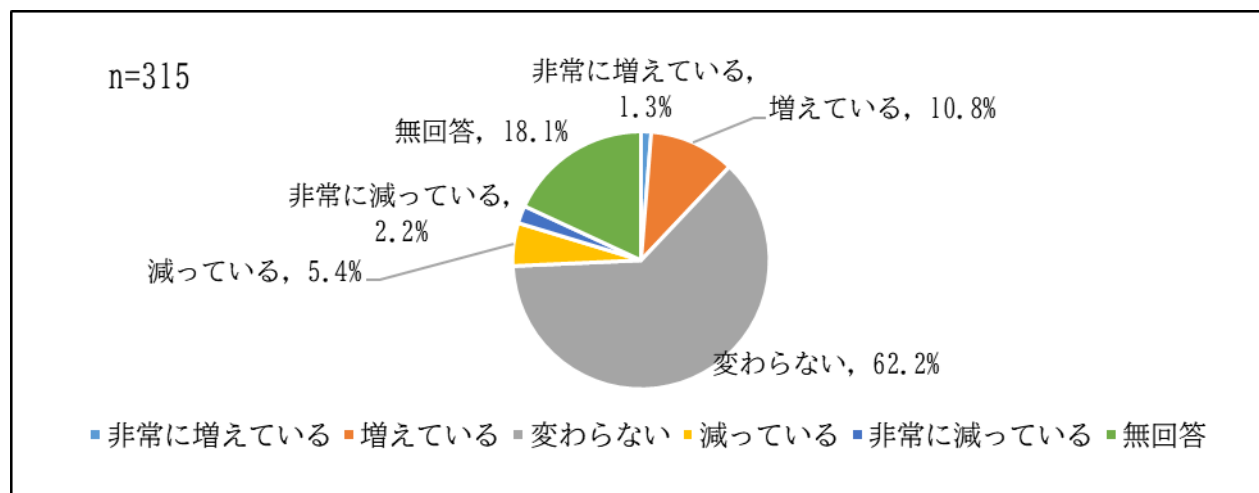


連携をとりにくい理由については、「日頃から連携していない為」が53.1%で最も多く、以下、「必要な情報の共有がしづらい為」が19.0%、「目的が一致していない為」が9.4%、「自分の職種（職務）の内容を十分に理解していない為」が9.1%、「役割分担が明確でない為」が7.5%などとなっています。

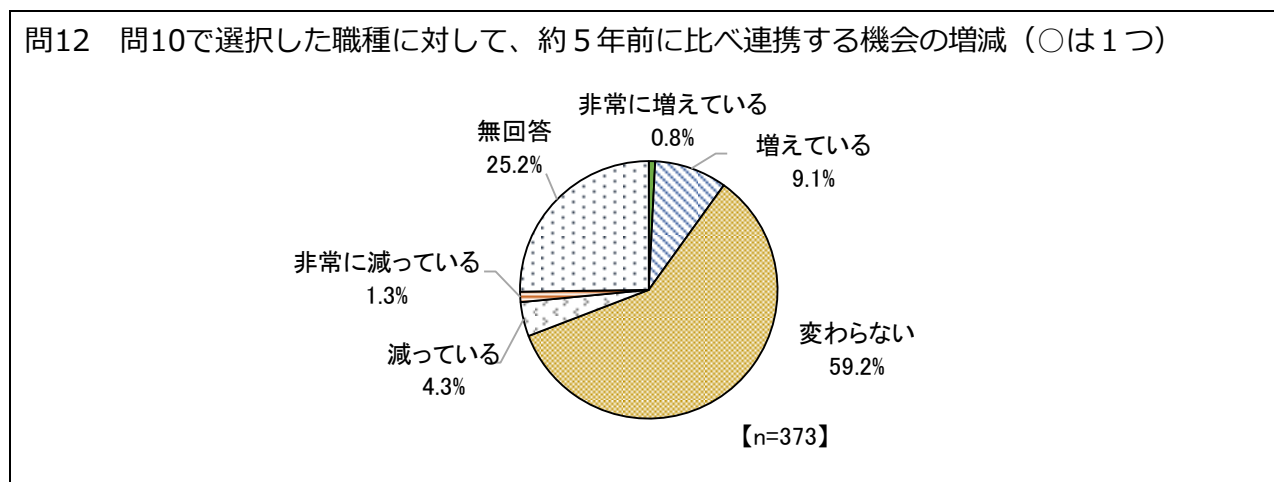
職種別回答

職種・職務	%	合計	理由						
			自分の職種（職務）の内容を十分に理解していない為	必要な情報の共有がしづらい為	役割分担が明確でない為	目的が一致していない為	日頃から連携していない為	その他	無回答
全体	373	9.1	19.0	7.5	9.4	53.1	7.2	21.2	
医師	40	5.0	12.5	2.5	-	52.5	15.0	25.0	
歯科医師	14	7.1	7.1	14.3	-	71.4	7.1	7.1	
看護師（准看護師含む）	114	7.9	16.7	9.6	8.8	43.0	5.3	28.1	
保健師	11	9.1	18.2	9.1	-	45.5	18.2	27.3	
薬剤師	15	6.7	13.3	-	20.0	80.0	-	6.7	
理学療法士	9	11.1	33.3	-	11.1	44.4	11.1	-	
作業療法士	6	16.7	16.7	16.7	16.7	100.0	-	-	
言語聴覚士	1	-	-	-	100.0	-	-	-	
介護支援専門員	40	20.0	30.0	10.0	7.5	52.5	20.0	5.0	
社会福祉士	6	16.7	-	16.7	-	83.3	-	-	
介護福祉士（初任者研修修了者含む）	12	-	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0	
救急救命士	19	21.1	26.3	10.5	26.3	57.9	-	5.3	
民生委員	84	6.0	21.4	6.0	9.5	56.0	3.6	29.8	

問12 連携する機会の増減：連携をとりにくい職種（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



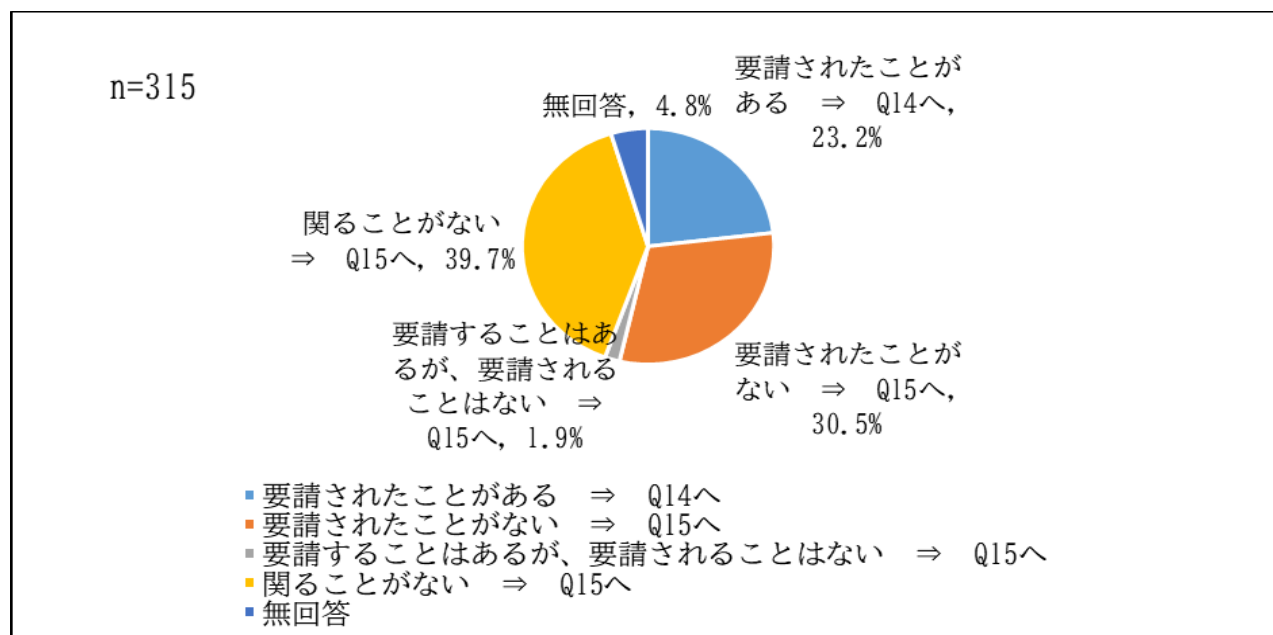
連携をとりにくい職種に対し、約5年前と比べ連携する機会の増減については、「変わらない」が59.2%で最も多く、以下、「増えている」が9.1%、「減っている」が4.3%、「非常に減っている」が1.3%、「非常に増えている」が0.8%となっています。

職種別回答

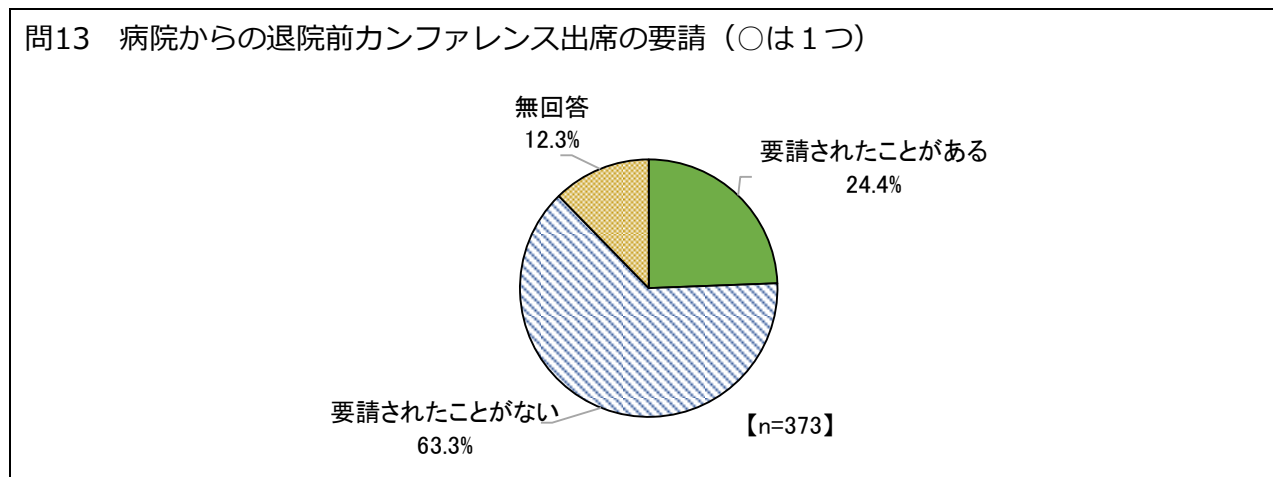
職種・職務	%	増減状況						
		合計	非常に増えている	増えている	変わらない	減っている	非常に減っている	無回答
全体		373	0.8	9.1	59.2	4.3	1.3	25.2
医師		40	-	10.0	67.5	2.5	-	20.0
歯科医師		14	-	-	78.6	-	7.1	14.3
看護師(准看護師含む)		114	1.8	7.0	55.3	2.6	2.6	30.7
保健師		11	-	36.4	36.4	-	-	27.3
薬剤師		15	-	6.7	86.7	6.7	-	-
理学療法士		9	-	-	100.0	-	-	-
作業療法士		6	-	-	83.3	16.7	-	-
言語聴覚士		1	-	-	100.0	-	-	-
介護支援専門員		40	2.5	27.5	62.5	2.5	-	5.0
社会福祉士		6	-	33.3	50.0	-	-	16.7
介護福祉士(初任者研修修了者含む)		12	-	-	66.7	8.3	-	25.0
救急救命士		19	-	10.5	78.9	5.3	-	5.3
民生委員		84	-	2.4	42.9	8.3	1.2	45.2

3 会議への出席について

問13 退院前カンファレンス出席の要請（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

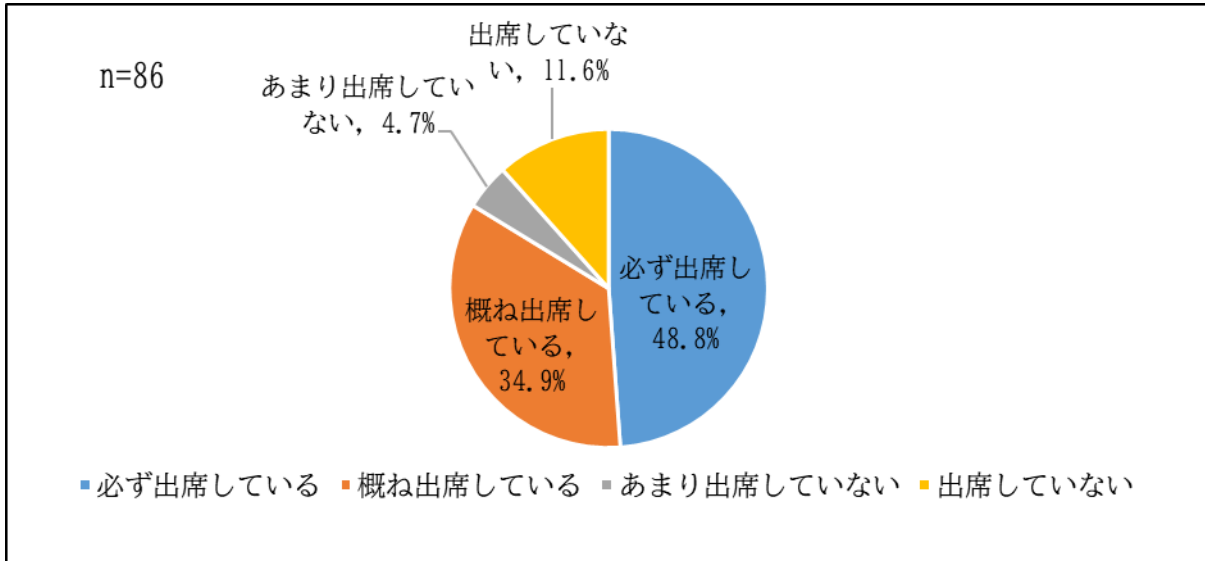


病院からの退院前カンファレンス出席の要請については、「要請されたことがない」が63.3%、「要請されたことがある」が24.4%となっています。

職種別回答

%		合計	要請されたことがある	要請されたことがない	無回答
職種・職務	全体	373	24.4	63.3	12.3
	医師	40	27.5	70.0	2.5
	歯科医師	14	-	92.9	7.1
	看護師(准看護師含む)	114	20.2	64.9	14.9
	保健師	11	54.5	45.5	-
	薬剤師	15	6.7	93.3	-
	理学療法士	9	22.2	77.8	-
	作業療法士	6	16.7	83.3	-
	言語聴覚士	1	-	100.0	-
	介護支援専門員	40	87.5	12.5	-
	社会福祉士	6	66.7	16.7	16.7
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	16.7	66.7	16.7
	救急救命士	19	5.3	94.7	-
	民生委員	84	4.8	67.9	27.4

問14 退院前カンファレンス出席を要請された際の対応（令和5年度）

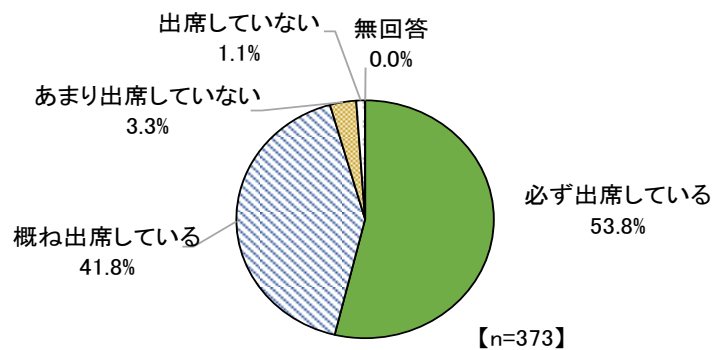


前回調査結果（令和2年度）

問14 問13で「1.要請されたことがある」と回答した方

病院から退院前カンファレンスへの出席を要請された際の対応について

（○は1つ）

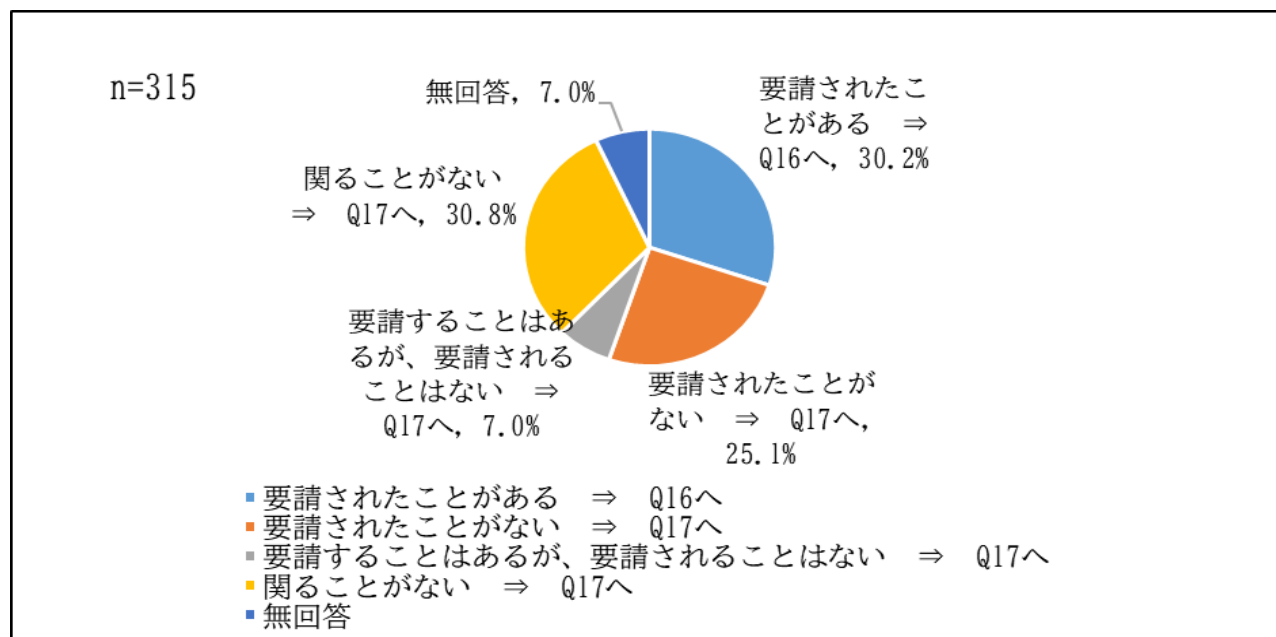


退院前カンファレンス出席を要請された際の対応については、「必ず出席している」が53.8%、「概ね出席している」が41.8%、「あまり出席していない」が3.3%、「出席していない」が1.1%となっています。

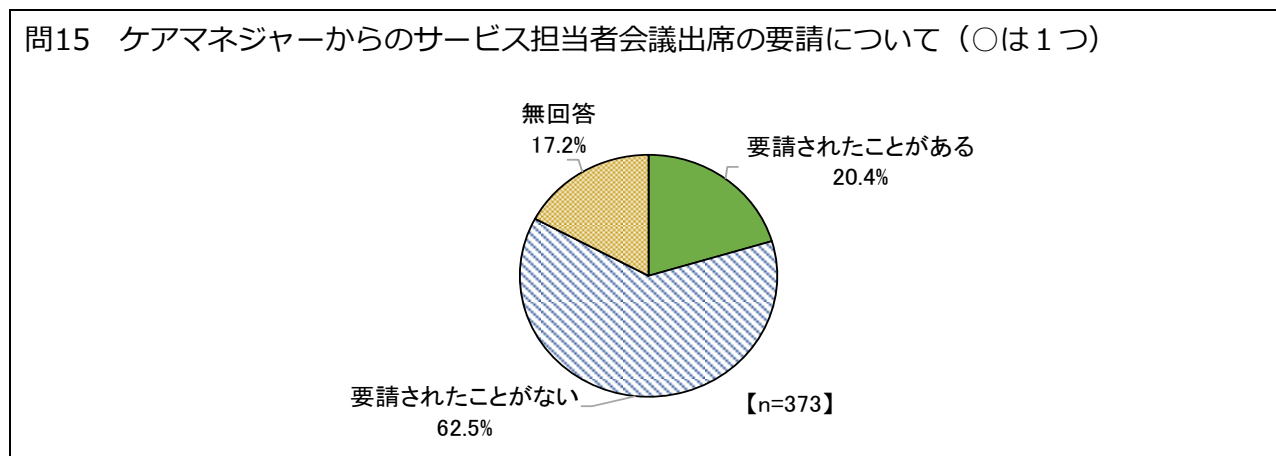
職種別回答

職種・職務	%	割合					
		合計	必ず出席している	概ね出席している	あまり出席していない	出席していない	無回答
全体	91	53.8	41.8	3.3	1.1	-	
医師	11	54.5	45.5	-	-	-	
歯科医師	-	-	-	-	-	-	
看護師(准看護師含む)	23	39.1	56.5	4.3	-	-	
保健師	6	33.3	50.0	-	16.7	-	
薬剤師	1	100.0	-	-	-	-	
理学療法士	2	-	100.0	-	-	-	
作業療法士	1	-	100.0	-	-	-	
言語聴覚士	-	-	-	-	-	-	
介護支援専門員	35	74.3	22.9	2.9	-	-	
社会福祉士	4	75.0	25.0	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	2	50.0	50.0	-	-	-	
救急救命士	1	-	-	100.0	-	-	
民生委員	4	25.0	75.0	-	-	-	

問15 サービス担当者会議出席の要請（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

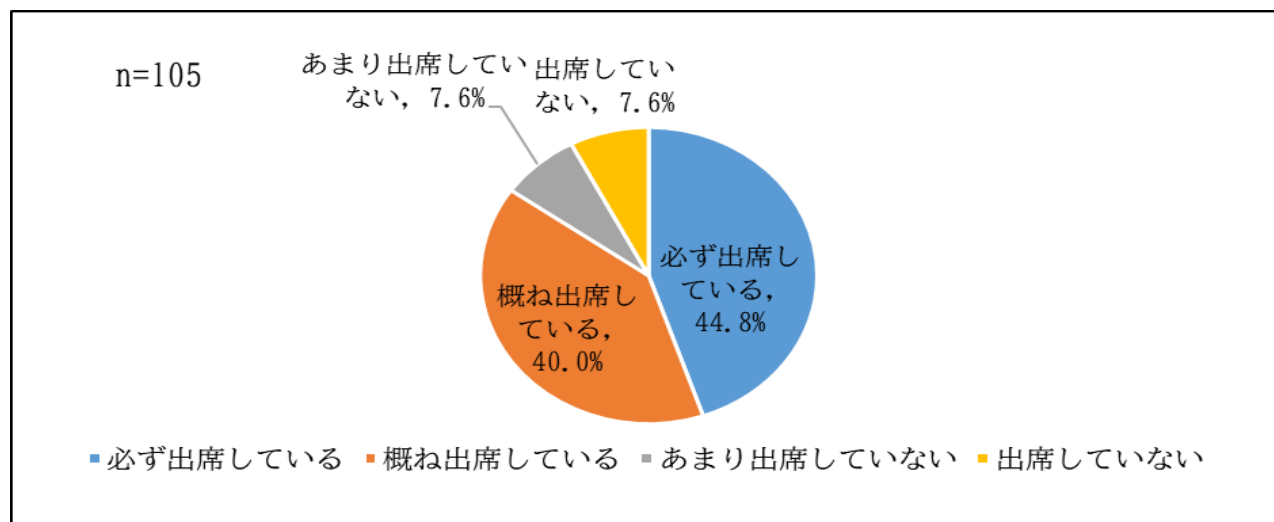


ケアマネジャーからのサービス担当者会議出席の要請については、「要請されたことがない」が62.5%、「要請されたことがある」が20.4%となっています。

職種別回答

職種・職務	%	割合			
		合計	要請されたことがある	要請されたことがない	無回答
全体		373	20.4	62.5	17.2
医師		40	17.5	75.0	7.5
歯科医師		14	-	100.0	-
看護師(准看護師含む)		114	21.9	61.4	16.7
保健師		11	36.4	63.6	-
薬剤師		15	33.3	66.7	-
理学療法士		9	44.4	44.4	11.1
作業療法士		6	83.3	16.7	-
言語聴覚士		1	100.0	-	-
介護支援専門員		40	22.5	32.5	45.0
社会福祉士		6	16.7	66.7	16.7
介護福祉士(初任者研修修了者含む)		12	58.3	25.0	16.7
救急救命士		19	5.3	94.7	-
民生委員		84	7.1	70.2	22.6

問16 サービス担当者会議出席を要請された際の対応（令和5年度）

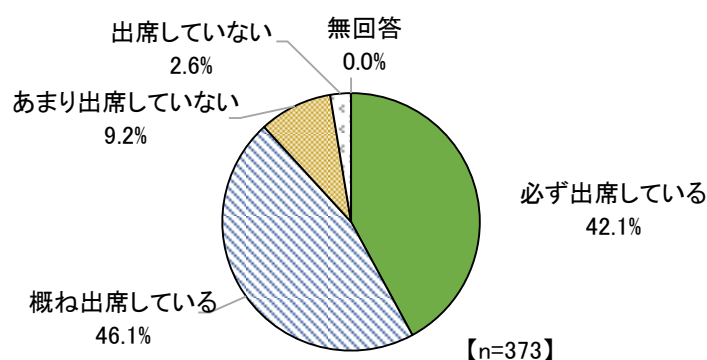


前回調査結果（令和2年度）

問16 問15で「1.要請されたことがある」と回答した方

ケアマネジャーからサービス担当者会議の出席を要請された際の対応について

（○は1つ）



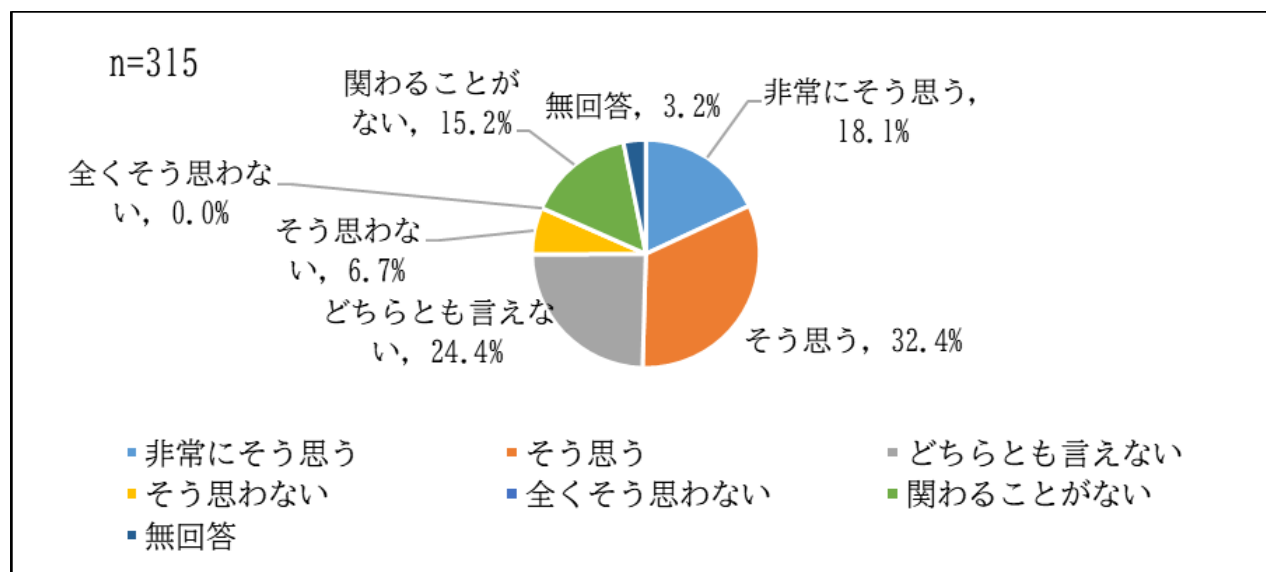
サービス担当者会議出席を要請された際の対応については、「概ね出席している」が46.1%、「必ず出席している」が42.1%、「あまり出席していない」が9.2%、「出席していない」が2.6%となっています。

職種別回答

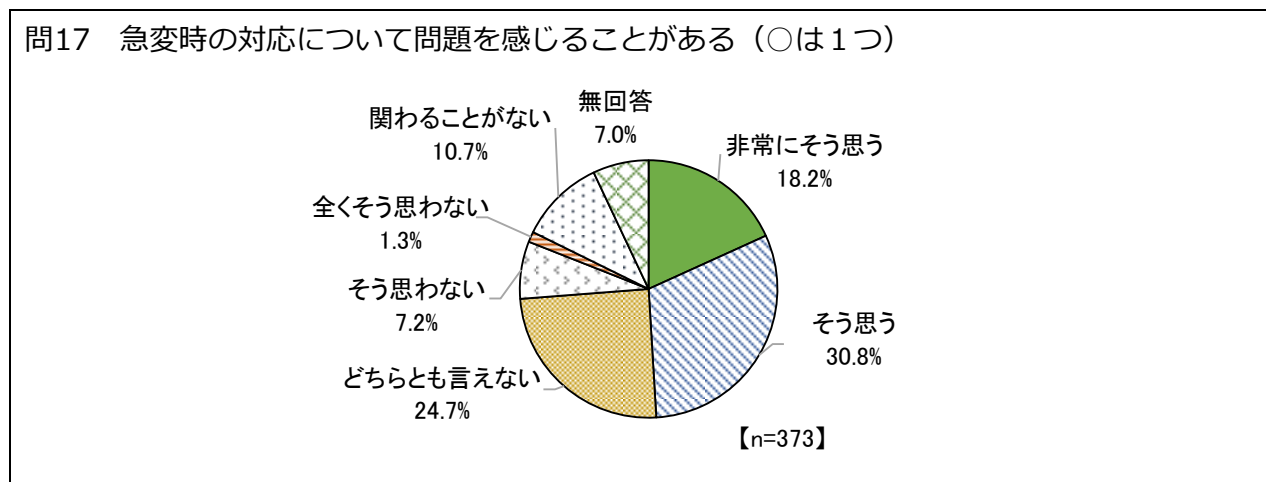
職種・職務	%	割合					
		合計	必ず出席している	概ね出席している	あまり出席していない	出席していない	無回答
全体	76	42.1	46.1	9.2	2.6	-	
医師	7	28.6	57.1	14.3	-	-	
歯科医師	-	-	-	-	-	-	
看護師(准看護師含む)	25	28.0	60.0	12.0	-	-	
保健師	4	75.0	25.0	-	-	-	
薬剤師	5	40.0	40.0	20.0	-	-	
理学療法士	4	25.0	50.0	-	25.0	-	
作業療法士	5	60.0	20.0	20.0	-	-	
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	-	
介護支援専門員	9	66.7	33.3	-	-	-	
社会福祉士	1	100.0	-	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	7	57.1	42.9	-	-	-	
救急救命士	1	-	-	100.0	-	-	
民生委員	6	50.0	33.3	-	16.7	-	

4 急変時対応・看取りについて

問17 急変時の対応について（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



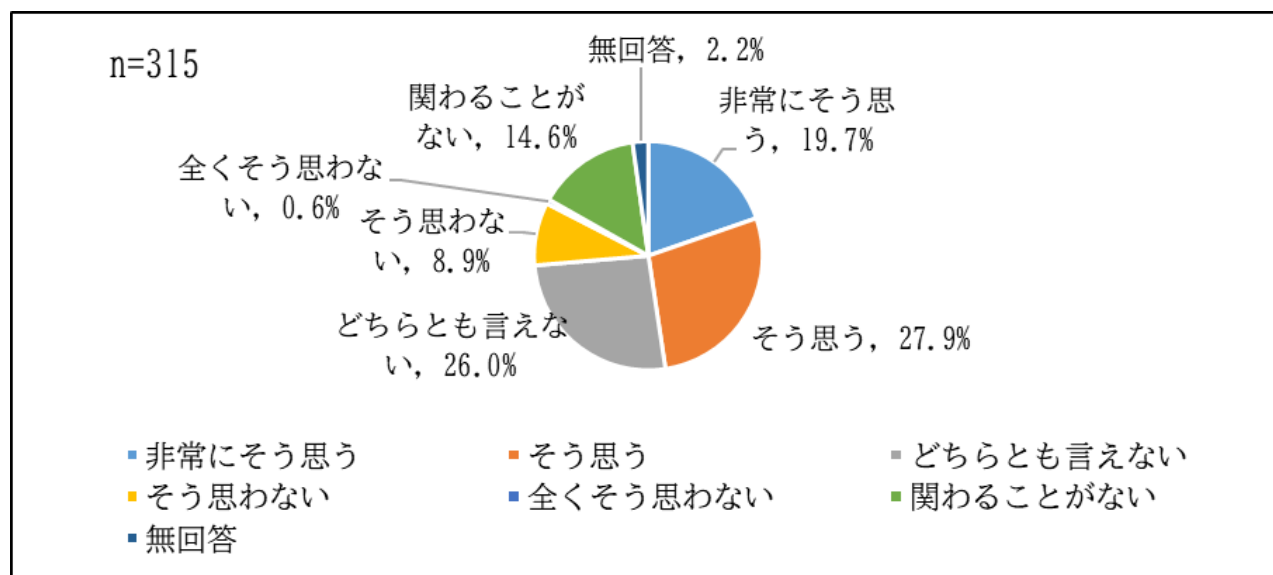
急変時の対応について、問題を感じることがある割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は49.0%と半数近くになっています。

なお、「関わることがない」は10.7%となっています。

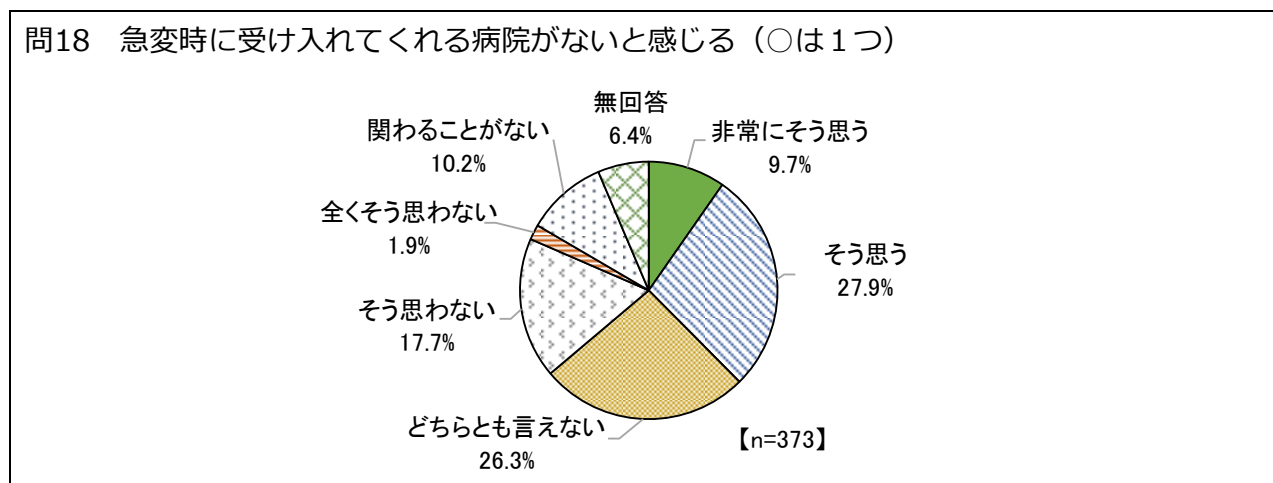
職種別回答

職種・職務	%	回答							
		合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	関わることがない	無回答
全体	373	18.2	30.8	24.7	7.2	1.3	10.7	7.0	
医師	40	7.5	22.5	35.0	25.0	2.5	7.5	-	
歯科医師	14	7.1	28.6	7.1	7.1	-	42.9	7.1	
看護師(准看護師含む)	114	25.4	30.7	27.2	7.0	1.8	1.8	6.1	
保健師	11	9.1	54.5	18.2	-	-	18.2	-	
薬剤師	15	13.3	26.7	40.0	-	6.7	13.3	-	
理学療法士	9	11.1	22.2	66.7	-	-	-	-	
作業療法士	6	16.7	50.0	-	16.7	-	16.7	-	
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
介護支援専門員	40	25.0	40.0	27.5	5.0	-	2.5	-	
社会福祉士	6	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	33.3	33.3	25.0	-	-	-	8.3	
救急救命士	19	26.3	31.6	26.3	-	5.3	10.5	-	
民生委員	84	13.1	26.2	13.1	3.6	-	25.0	19.0	

問18 急変時に受け入れてくれる病院について（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



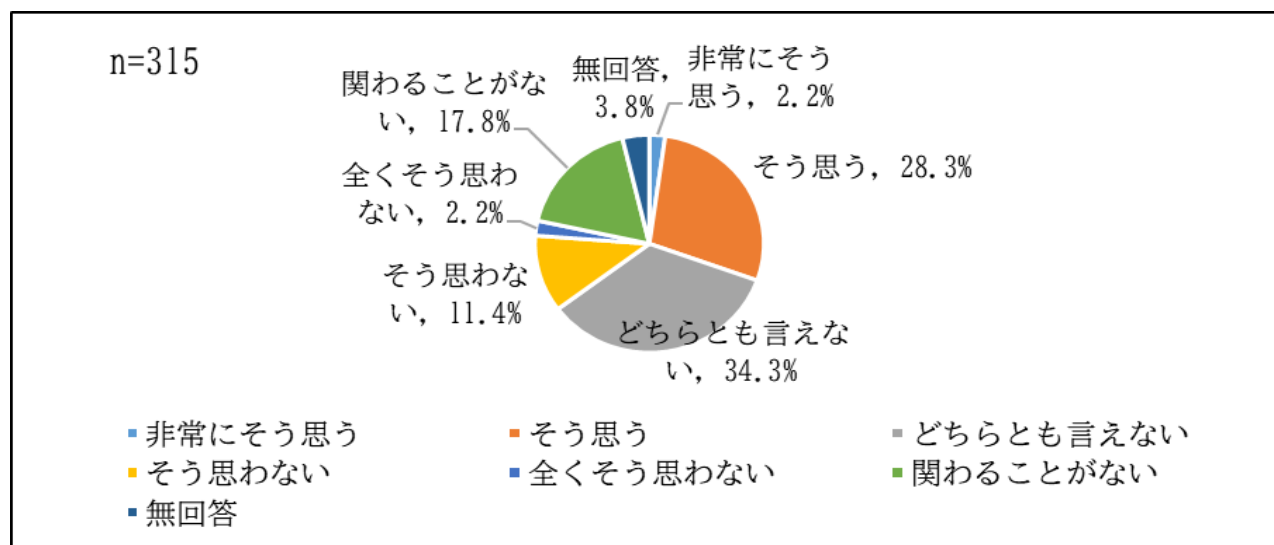
急変時に受け入れてくれる病院について、ないと感じている割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は37.6%となっています。

なお、「関わりがない」は10.2%となっています。

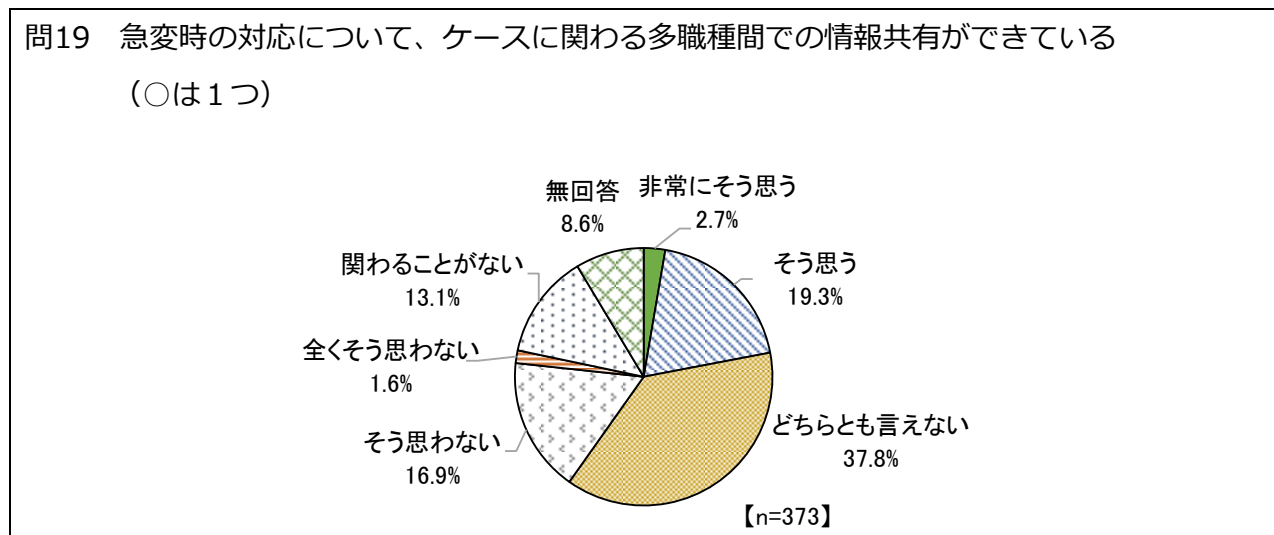
職種別回答

職種・職務	%	回答							
		合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	関わりがない	無回答
全体	373	9.7	27.9	26.3	17.7	1.9	10.2	6.4	
医師	40	2.5	12.5	20.0	57.5	2.5	5.0	-	
歯科医師	14	14.3	-	28.6	21.4	-	28.6	7.1	
看護師(准看護師含む)	114	9.6	33.3	29.8	11.4	4.4	5.3	6.1	
保健師	11	18.2	18.2	45.5	-	-	18.2	-	
薬剤師	15	-	6.7	46.7	26.7	-	20.0	-	
理学療法士	9	11.1	33.3	22.2	22.2	-	11.1	-	
作業療法士	6	-	16.7	33.3	16.7	-	33.3	-	
言語聴覚士	1	-	-	-	100.0	-	-	-	
介護支援専門員	40	15.0	40.0	35.0	10.0	-	-	-	
社会福祉士	6	-	-	50.0	50.0	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	16.7	33.3	16.7	16.7	-	8.3	8.3	
救急救命士	19	15.8	31.6	36.8	5.3	5.3	5.3	-	
民生委員	84	9.5	32.1	11.9	10.7	-	19.0	16.7	

問19 ケースに関わる多職種間での情報共有について（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



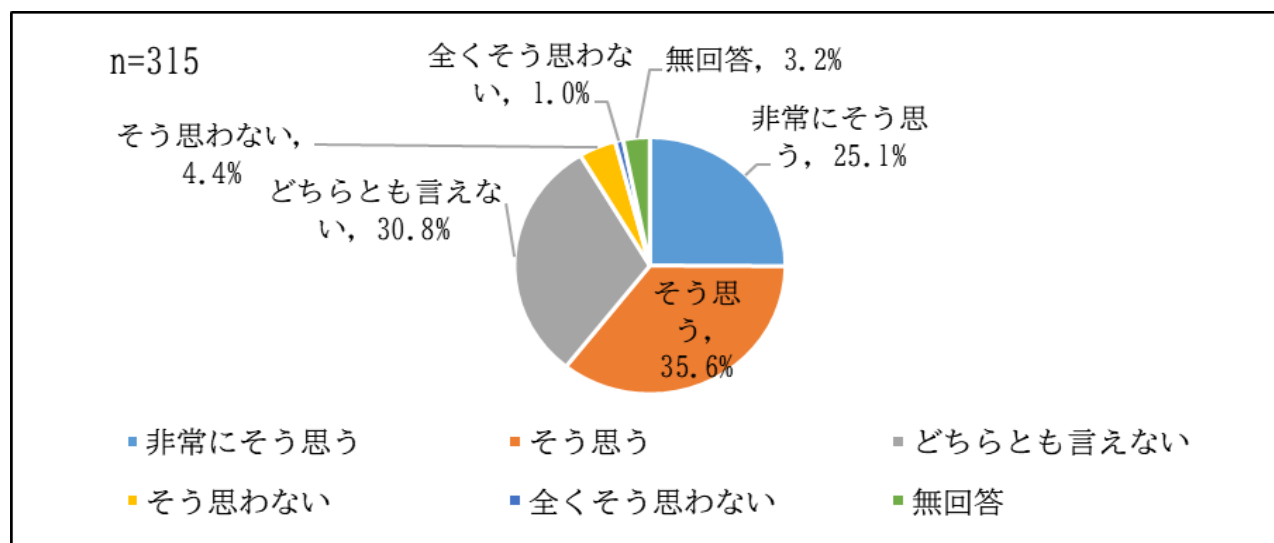
急変時の対応について、ケースに関わる多職種間での情報共有について、共有できていると思う割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は22.0%となっています。

なお、「関わることがない」は13.1%となっています。

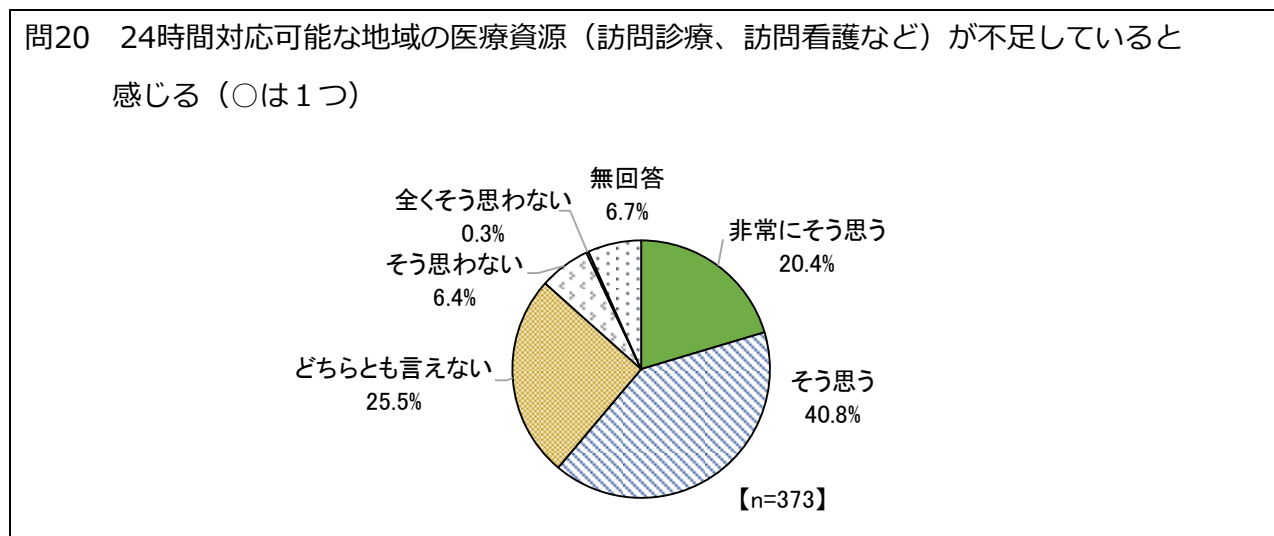
職種別回答

職種・職務	%	回答							
		合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	関わることがない	無回答
全体	373	2.7	19.3	37.8	16.9	1.6	13.1	8.6	
医師	40	5.0	25.0	50.0	15.0	-	5.0	-	
歯科医師	14	-	-	21.4	28.6	-	42.9	7.1	
看護師(准看護師含む)	114	2.6	21.9	44.7	15.8	0.9	6.1	7.9	
保健師	11	-	27.3	63.6	-	-	9.1	-	
薬剤師	15	6.7	-	33.3	33.3	-	26.7	-	
理学療法士	9	-	22.2	55.6	22.2	-	-	-	
作業療法士	6	-	33.3	50.0	-	-	16.7	-	
言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
介護支援専門員	40	5.0	45.0	35.0	10.0	-	2.5	2.5	
社会福祉士	6	16.7	33.3	33.3	16.7	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	25.0	33.3	16.7	8.3	-	16.7	
救急救命士	19	5.3	15.8	36.8	31.6	5.3	5.3	-	
民生委員	84	-	4.8	21.4	17.9	3.6	31.0	21.4	

問20 24時間対応が可能な地域の医療資源について（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

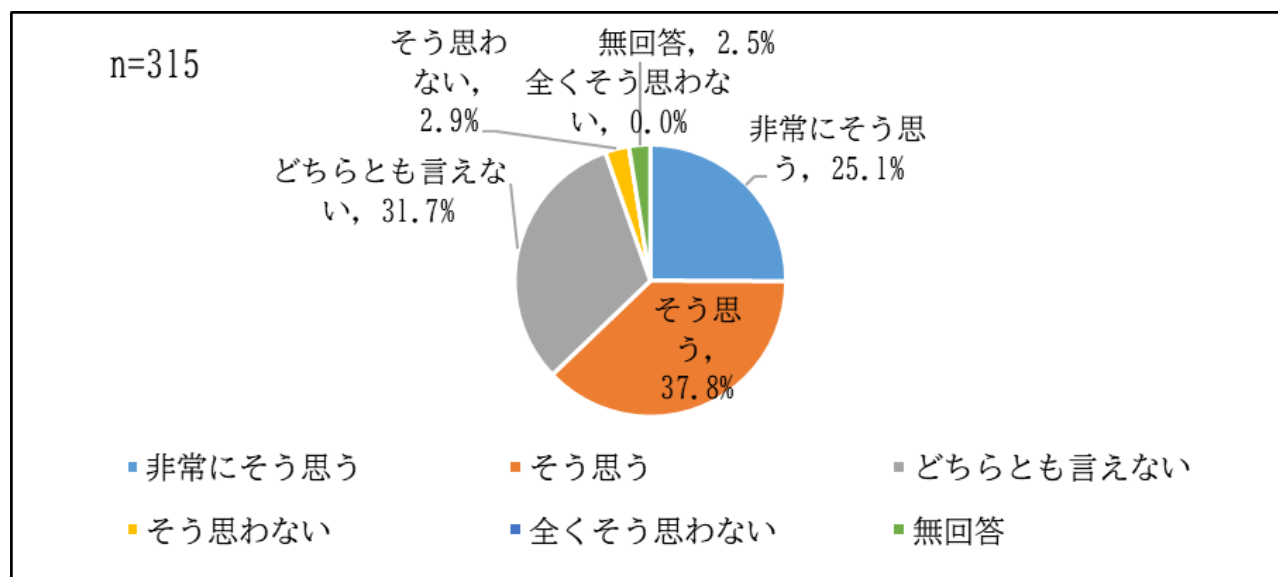


24時間対応が可能な地域の医療資源について、不足していると感じている割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は61.2%となっています。

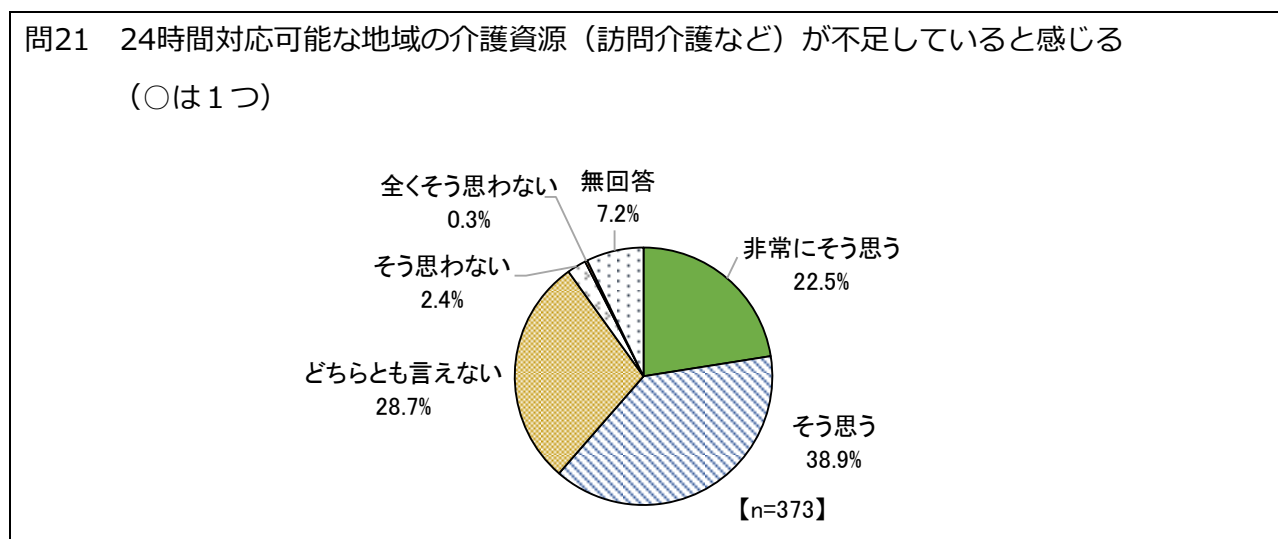
職種別回答

職種・職務	%						
	合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	無回答
全体	373	20.4	40.8	25.5	6.4	0.3	6.7
医師	40	7.5	47.5	40.0	2.5	2.5	-
歯科医師	14	14.3	28.6	50.0	-	-	7.1
看護師(准看護師含む)	114	21.9	47.4	18.4	7.0	-	5.3
保健師	11	18.2	18.2	54.5	9.1	-	-
薬剤師	15	-	53.3	46.7	-	-	-
理学療法士	9	44.4	33.3	22.2	-	-	-
作業療法士	6	50.0	16.7	33.3	-	-	-
言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-
介護支援専門員	40	20.0	55.0	15.0	10.0	-	-
社会福祉士	6	16.7	50.0	16.7	16.7	-	-
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	33.3	25.0	16.7	16.7	-	8.3
救急救命士	19	31.6	26.3	26.3	15.8	-	-
民生委員	84	21.4	32.1	22.6	4.8	-	19.0

問2 1 24時間対応が可能な地域の介護資源について（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

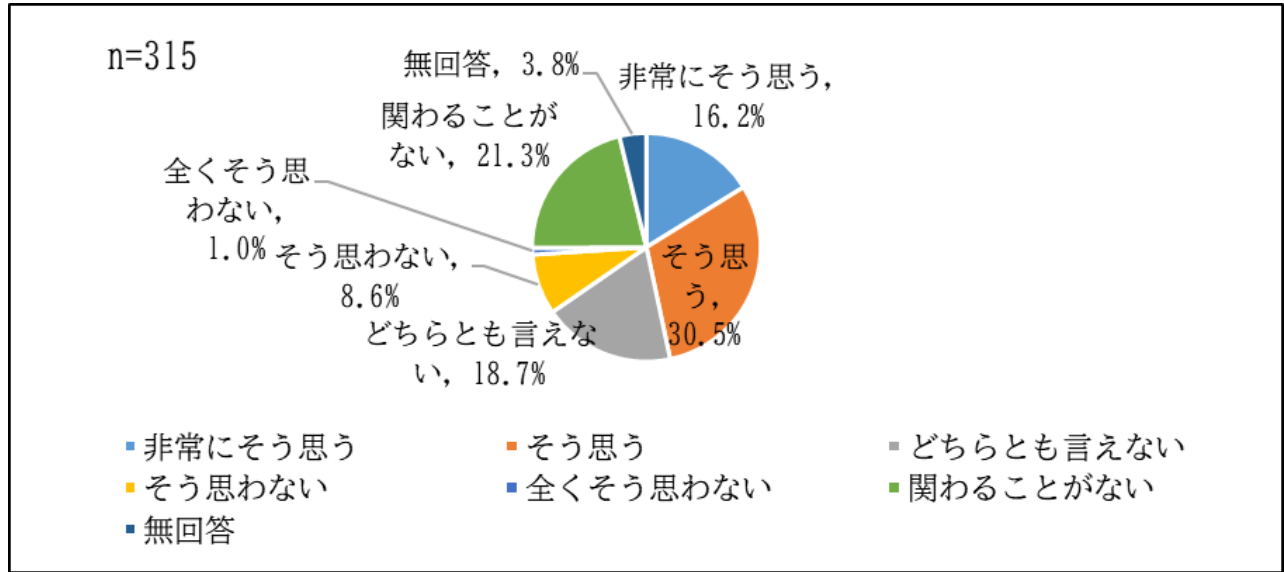


24時間対応が可能な地域の介護資源について、不足していると感じている割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は61.4%となっています。

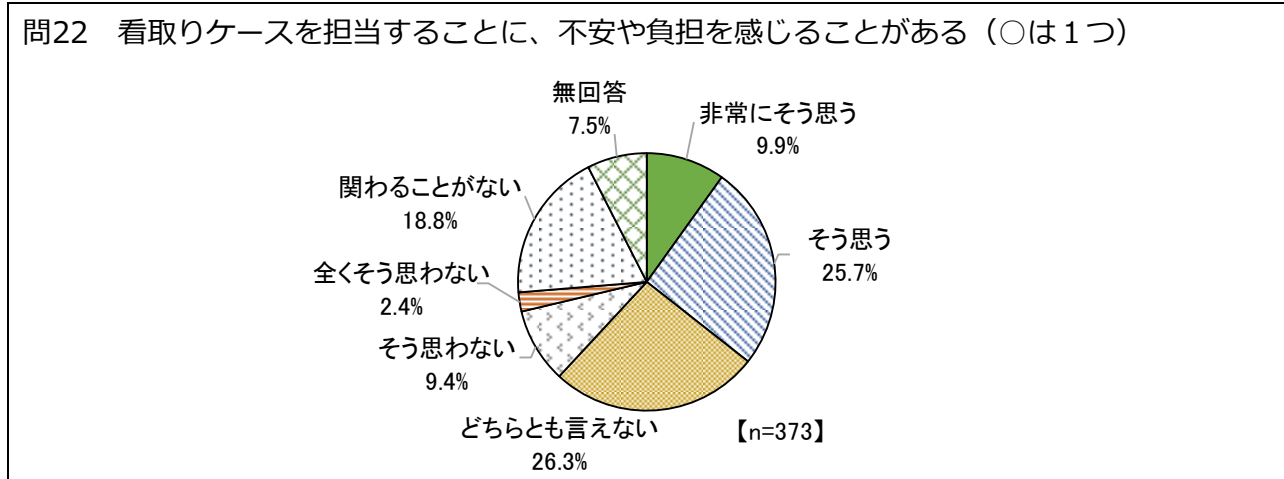
職種別回答

職種・職務	%						
	合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	無回答
全体	373	22.5	38.9	28.7	2.4	0.3	7.2
医師	40	10.0	35.0	50.0	2.5	2.5	-
歯科医師	14	7.1	28.6	57.1	-	-	7.1
看護師（准看護師含む）	114	26.3	50.0	17.5	0.9	-	5.3
保健師	11	18.2	27.3	45.5	9.1	-	-
薬剤師	15	-	53.3	40.0	6.7	-	-
理学療法士	9	44.4	33.3	22.2	-	-	-
作業療法士	6	66.7	16.7	16.7	-	-	-
言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-
介護支援専門員	40	40.0	47.5	10.0	2.5	-	-
社会福祉士	6	33.3	50.0	16.7	-	-	-
介護福祉士（初任者研修修了者含む）	12	25.0	25.0	41.7	-	-	8.3
救急救命士	19	26.3	21.1	42.1	10.5	-	-
民生委員	84	15.5	29.8	31.0	2.4	-	21.4

問22 看取りケースを担当することについて（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



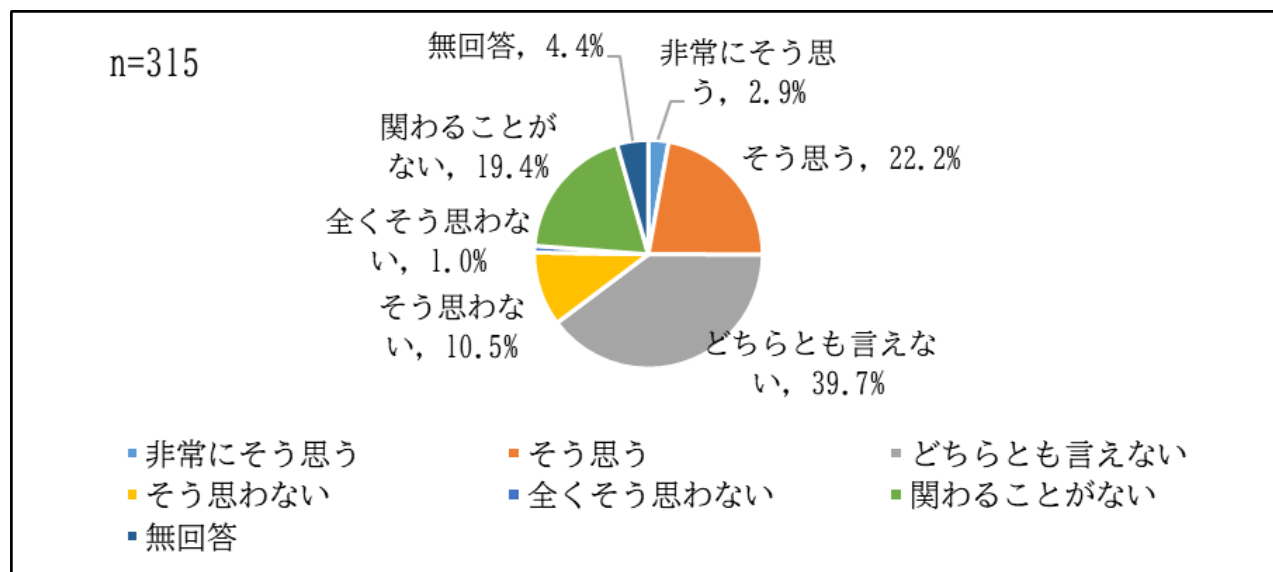
看取りケースを担当することについて、不安や負担を感じる割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は35.6%となっています。

なお、「関わりがない」は18.8%となっています。

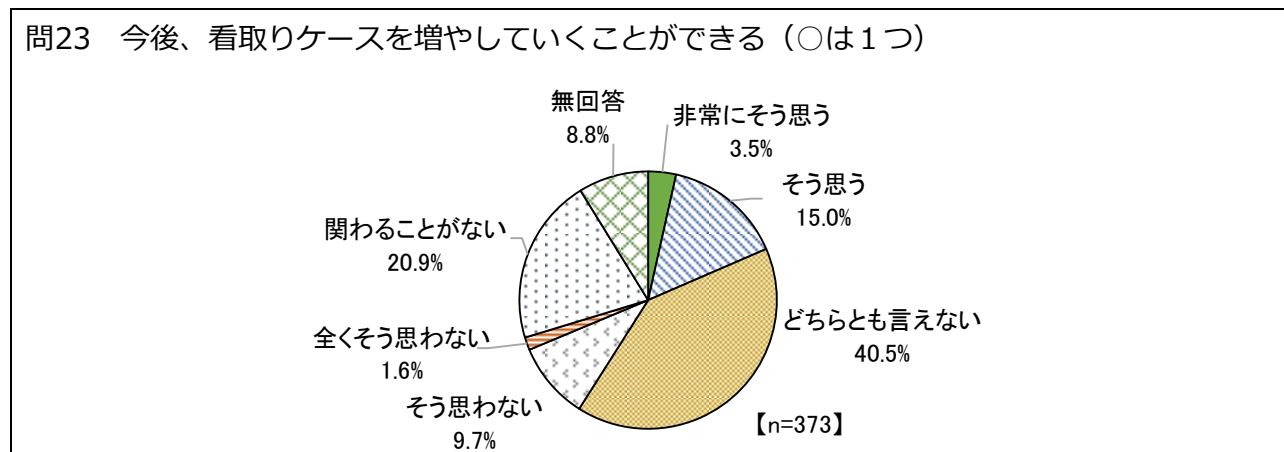
職種別回答

職種・職務	%	割合							
		合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	関わりがない	無回答
全体	373	9.9	25.7	26.3	9.4	2.4	18.8	7.5	
医師	40	2.5	20.0	32.5	30.0	5.0	10.0	-	
歯科医師	14	-	7.1	21.4	7.1	-	57.1	7.1	
看護師(准看護師含む)	114	13.2	28.1	32.5	7.9	5.3	7.0	6.1	
保健師	11	9.1	18.2	45.5	-	-	27.3	-	
薬剤師	15	6.7	20.0	33.3	-	-	40.0	-	
理学療法士	9	-	22.2	44.4	11.1	-	22.2	-	
作業療法士	6	-	50.0	-	33.3	-	16.7	-	
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	-	-	-	
介護支援専門員	40	15.0	45.0	30.0	5.0	-	5.0	-	
社会福祉士	6	-	66.7	-	33.3	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	8.3	41.7	8.3	25.0	-	8.3	8.3	
救急救命士	19	5.3	21.1	31.6	10.5	5.3	21.1	5.3	
民生委員	84	13.1	15.5	13.1	1.2	-	36.9	20.2	

問23 今後、看取りケースを増やすことについて（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



今後、看取りケースを増やすことについて、増やすことができる割合（「非常にそう思う」と「そう思う」の合計）は18.5%となっています。

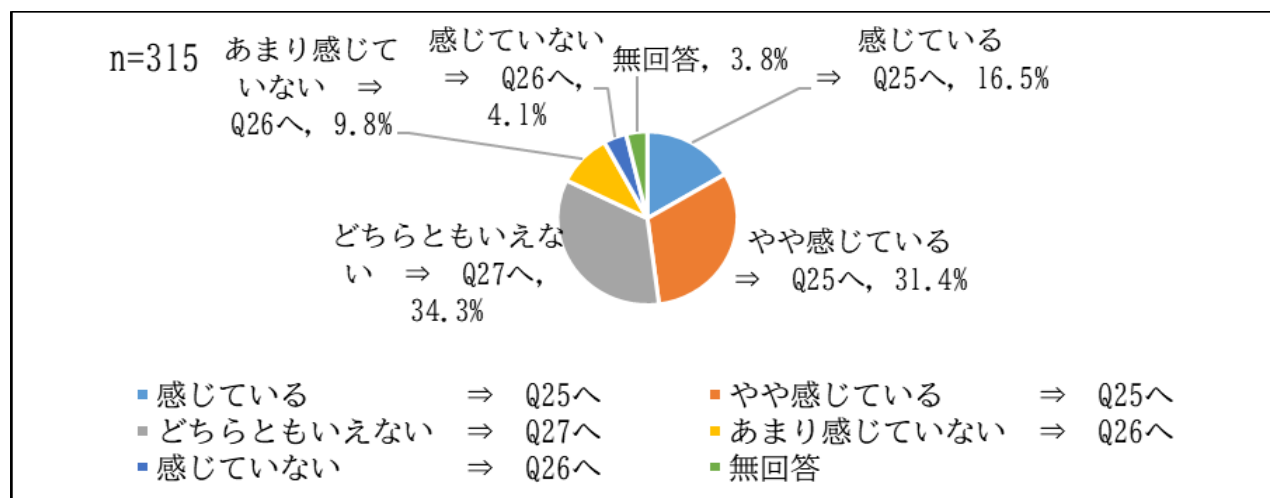
なお、「関わることはない」は20.9%となっています。

職種別回答

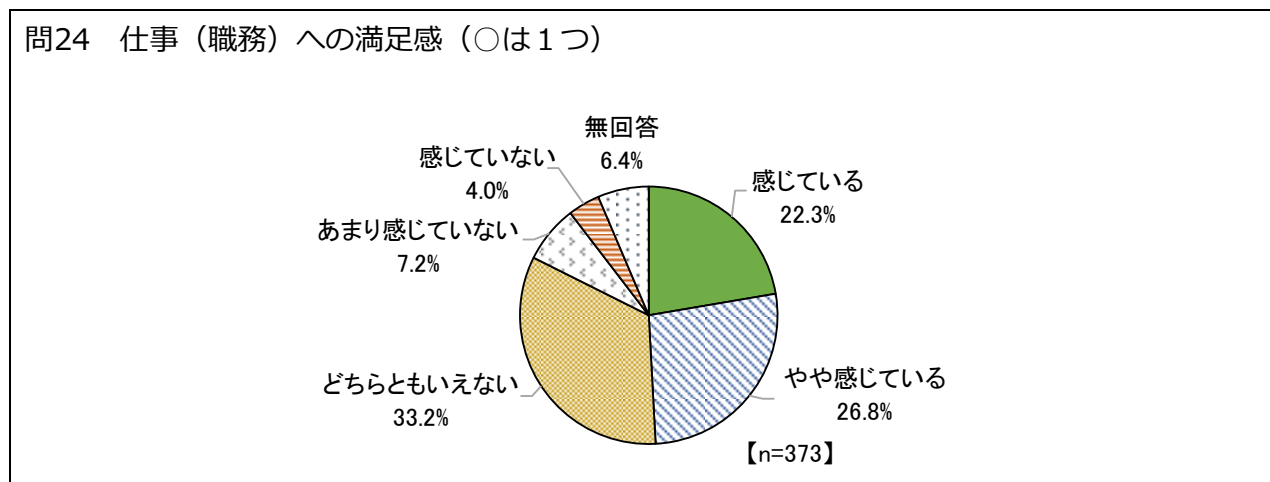
職種・職務	%	割合							
		合計	非常にそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	関わることはない	無回答
全体	373	3.5	15.0	40.5	9.7	1.6	20.9	8.8	
医師	40	10.0	27.5	30.0	7.5	5.0	20.0	-	
歯科医師	14	-	-	21.4	-	-	64.3	14.3	
看護師(准看護師含む)	114	4.4	21.1	43.9	13.2	2.6	7.9	7.0	
保健師	11	-	9.1	63.6	-	-	27.3	-	
薬剤師	15	-	20.0	40.0	-	-	40.0	-	
理学療法士	9	-	-	77.8	-	-	22.2	-	
作業療法士	6	-	16.7	66.7	-	-	16.7	-	
言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-	-	-	
介護支援専門員	40	5.0	25.0	57.5	7.5	-	5.0	-	
社会福祉士	6	16.7	16.7	66.7	-	-	-	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	16.7	33.3	25.0	-	16.7	8.3	
救急救命士	19	5.3	5.3	47.4	5.3	-	36.8	-	
民生委員	84	-	2.4	23.8	13.1	1.2	34.5	25.0	

5 従事者満足度について

問24 仕事（職務）への満足感（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

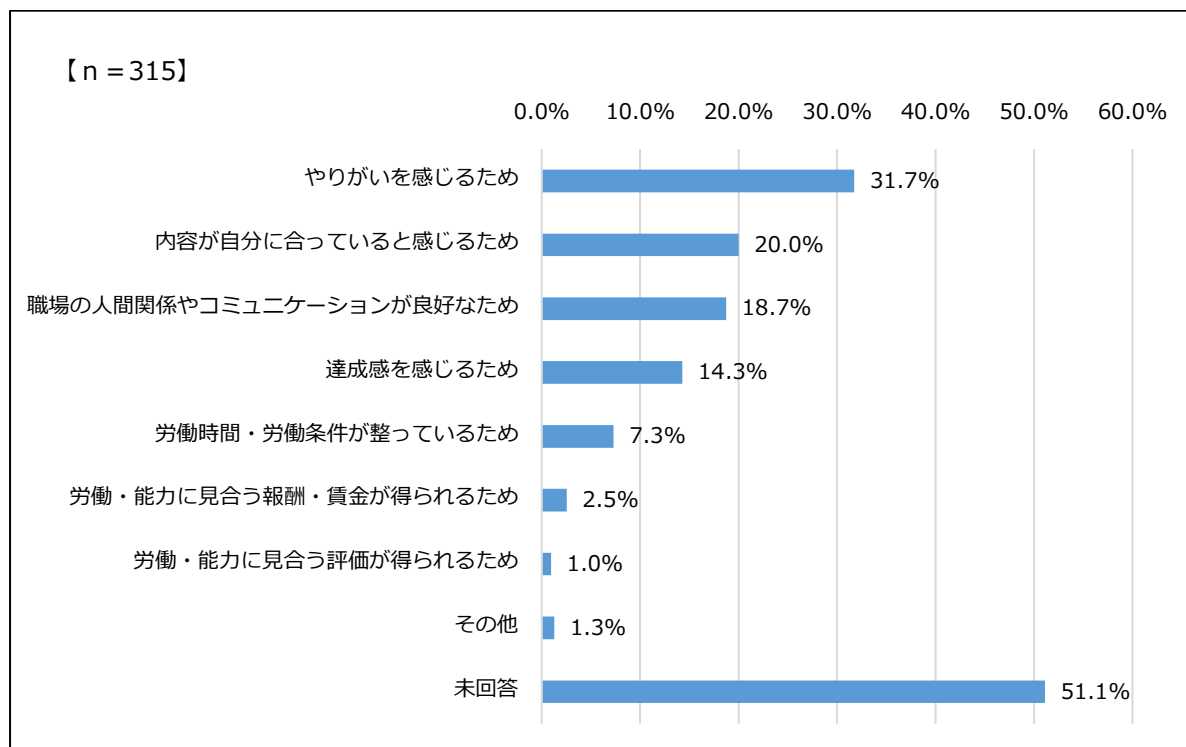


仕事（職務）への満足感については、「どちらともいえない」が33.2%で最も多くなっていますが、満足感を感じている割合（「感じている」と「やや感じている」の合計）は49.1%で半数近くとなっています。

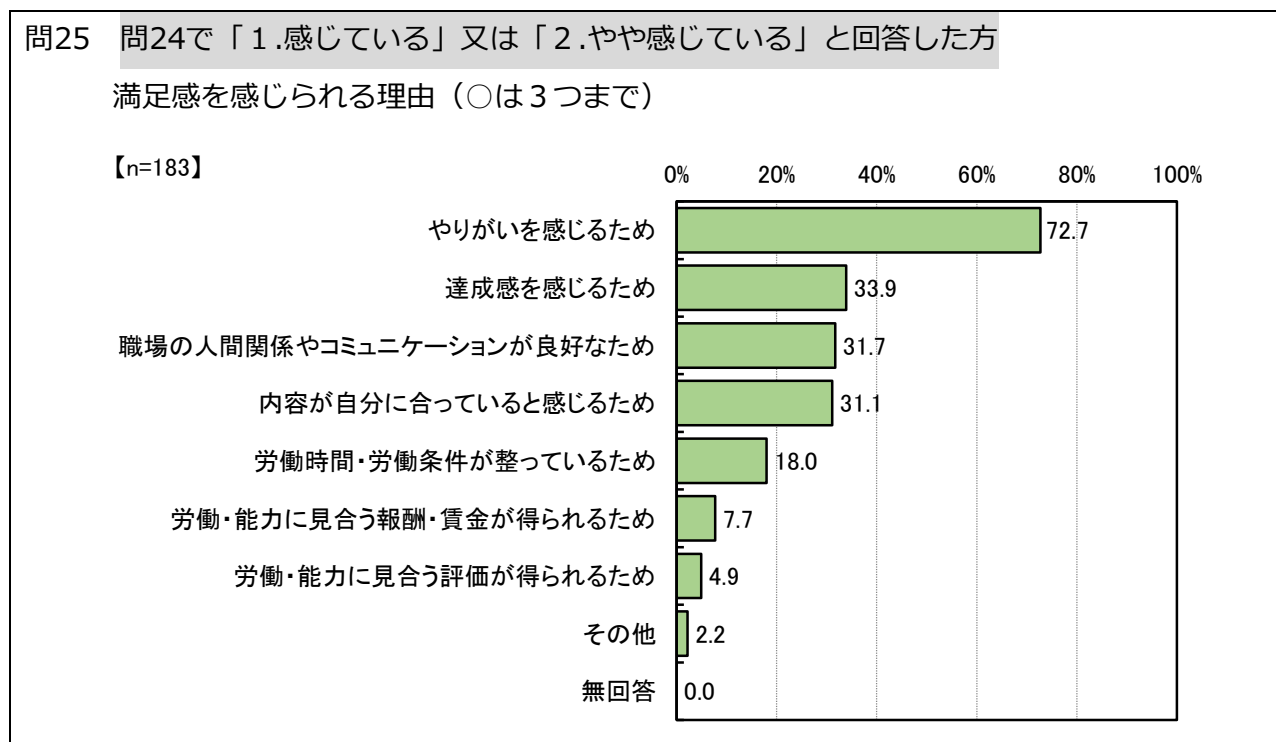
職種別回答

%								
		合計	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	感じていない	無回答
職種・職務	全体	373	22.3	26.8	33.2	7.2	4.0	6.4
	医師	40	50.0	30.0	17.5	-	2.5	-
	歯科医師	14	42.9	28.6	21.4	-	-	7.1
	看護師（准看護師含む）	114	15.8	21.9	37.7	13.2	8.8	2.6
	保健師	11	18.2	36.4	45.5	-	-	-
	薬剤師	15	20.0	20.0	53.3	-	6.7	-
	理学療法士	9	22.2	33.3	33.3	11.1	-	-
	作業療法士	6	16.7	50.0	16.7	-	16.7	-
	言語聴覚士	1	-	-	-	100.0	-	-
	介護支援専門員	40	5.0	45.0	37.5	10.0	2.5	-
	社会福祉士	6	50.0	16.7	33.3	-	-	-
	介護福祉士（初任者研修修了者含む）	12	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	救急救命士	19	47.4	31.6	15.8	5.3	-	-
	民生委員	84	15.5	19.0	35.7	6.0	1.2	22.6

問25 仕事に満足感を感じられる理由（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

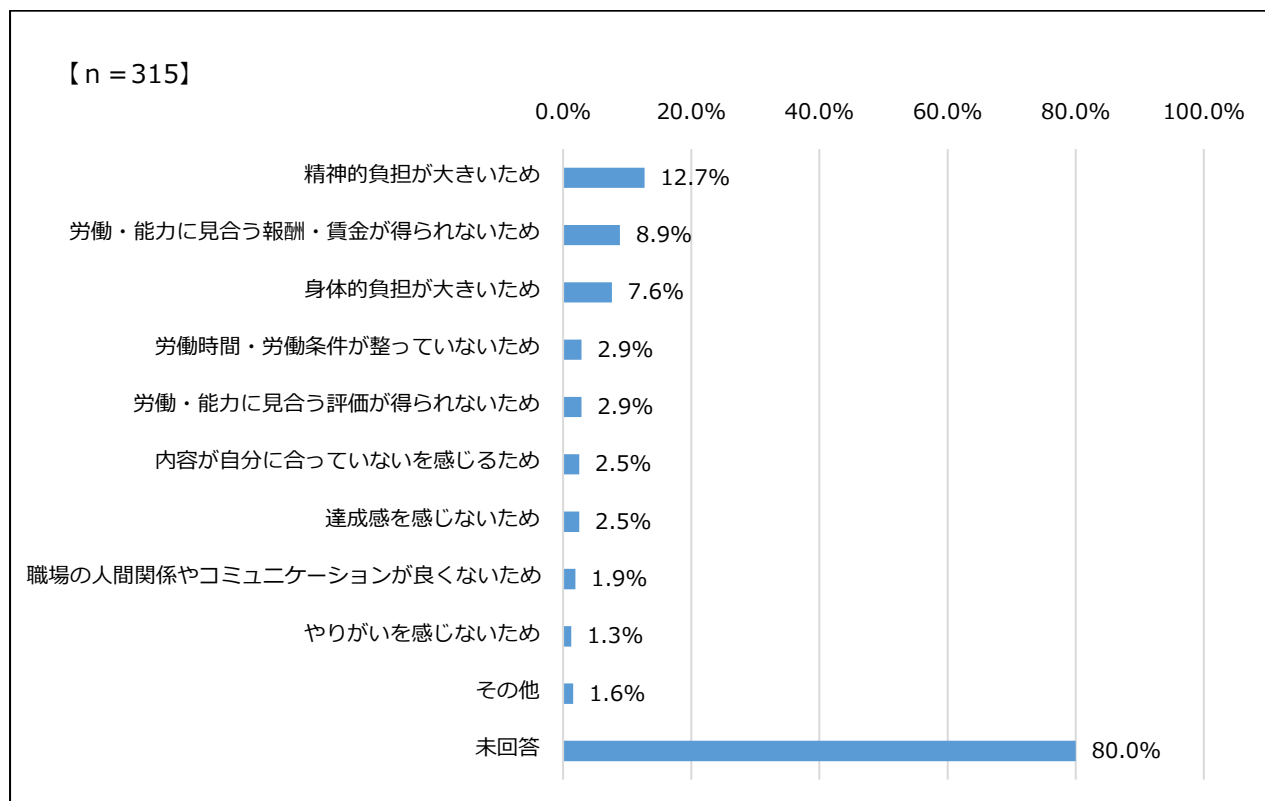


仕事に満足感を感じられる理由については、「やりがいを感じるため」が72.7%で最も多く、以下、「達成感を感じるため」が33.9%、「職場の人間関係やコミュニケーションが良好なため」が31.7%、「内容が自分に合っていると感じるため」が31.1%、「労働時間・労働条件が整っているため」が18.0%などとなっています。

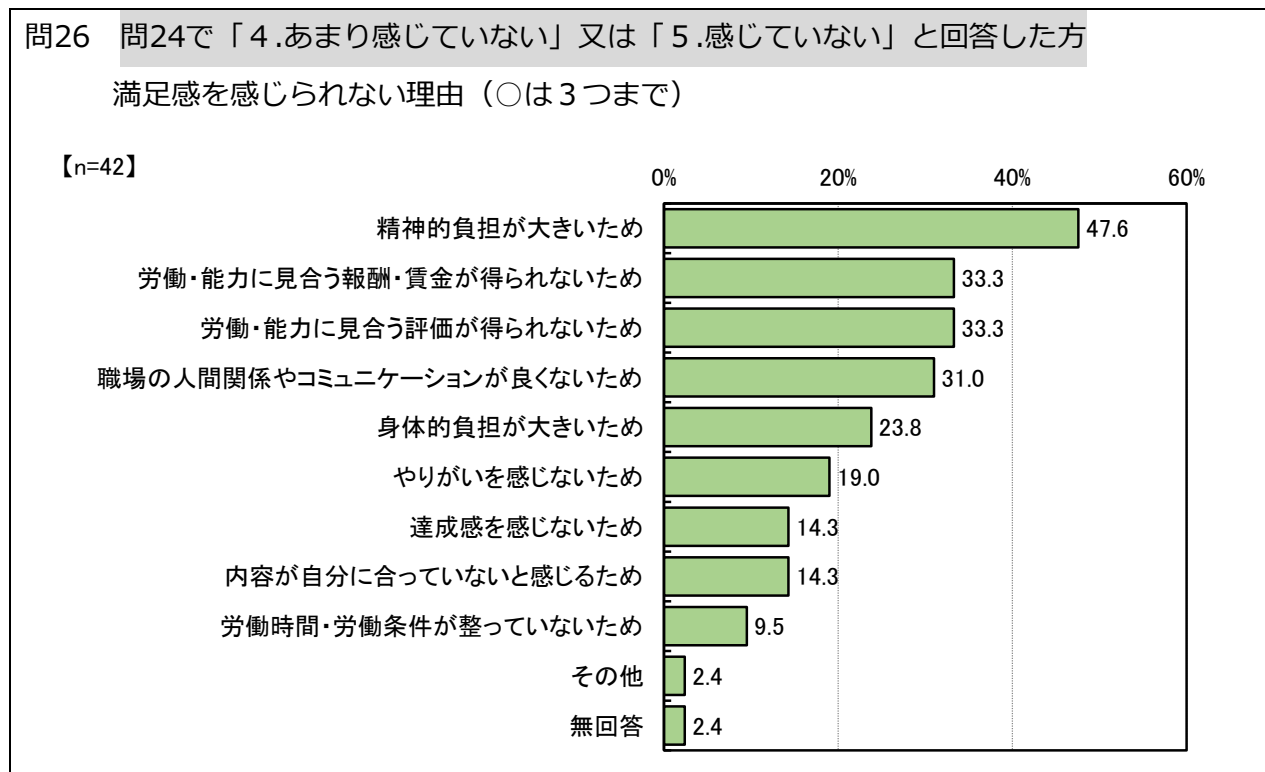
職種別回答

%											
		合計	やりがいを感じるため	達成感を感じるため	労働・能力に見合う報酬・賃金が得られるため	労働時間・労働条件が整っているため	労働・能力に見合う評価が得られるため	職場の人間関係やコミュニケーションが良好なため	内容が自分に合っていると感ずるため	その他	無回答
職種・職務	全体	183	72.7	33.9	7.7	18.0	4.9	31.7	31.1	2.2	-
	医師	32	78.1	34.4	21.9	28.1	6.3	25.0	18.8	-	-
	歯科医師	10	70.0	40.0	20.0	10.0	-	30.0	30.0	-	-
	看護師(准看護師含む)	43	67.4	27.9	2.3	23.3	7.0	34.9	27.9	-	-
	保健師	6	66.7	33.3	-	16.7	16.7	33.3	16.7	-	-
	薬剤師	6	66.7	16.7	16.7	33.3	-	16.7	33.3	-	-
	理学療法士	5	80.0	40.0	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-
	作業療法士	4	100.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-
	言語聴覚士	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護支援専門員	20	60.0	10.0	10.0	15.0	5.0	45.0	30.0	10.0	-
	社会福祉士	4	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	8	87.5	50.0	-	12.5	-	50.0	50.0	-	-
	救急救命士	15	73.3	53.3	-	6.7	6.7	46.7	26.7	6.7	-
	民生委員	29	75.9	41.4	3.4	6.9	3.4	24.1	48.3	-	-

問 2 6 仕事に満足感を感じられない理由（令和 5 年度）



前回調査結果（令和 2 年度）



仕事に満足感を感じられない理由については、「精神的負担が大きいため」が47.6%で最も多く、以下、「労働・能力に見合う報酬・賃金が得られないため」、「労働・能力に見合う評価が得られないため」がいずれも33.3%、「職場の人間関係やコミュニケーションが良くないため」が31.0%、「身体的負担が大きいため」が23.8%などとなっています。

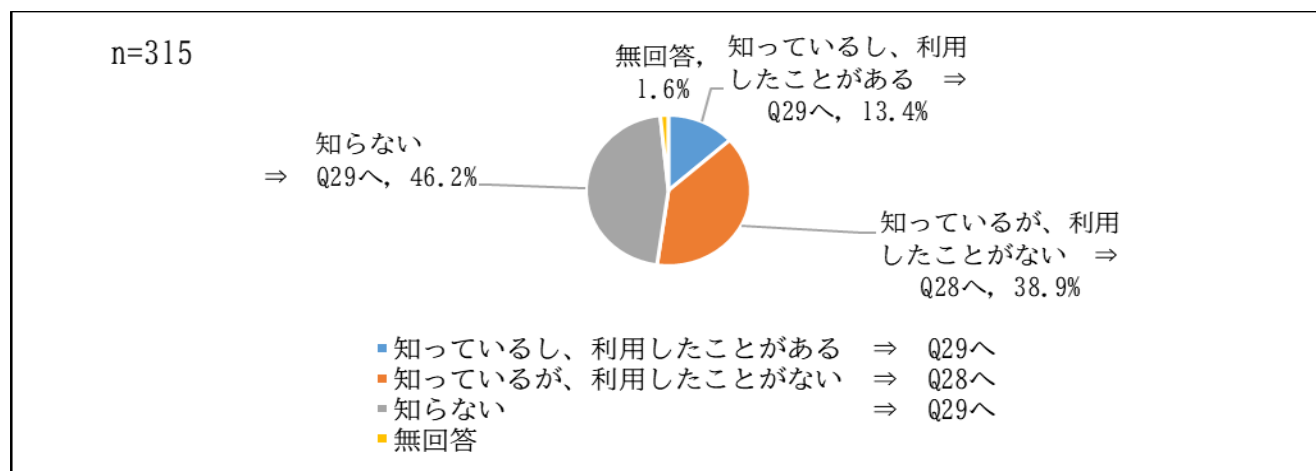
職種別回答

%		問26 満足感を感じられない理由						
		合計	やりがいを感じないため	達成感を感じないため	身体的負担が大きいため	精神的負担が大きいため	労働・能力に見合う報酬・賃金が得られないため	労働時間・労働条件が整っていないため
職種・職務	全体	42	19.0	14.3	23.8	47.6	33.3	9.5
	医師	1	-	100.0	-	-	-	-
	歯科医師	-	-	-	-	-	-	-
	看護師(准看護師含む)	25	20.0	8.0	32.0	56.0	36.0	12.0
	保健師	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤師	1	-	-	-	-	100.0	100.0
	理学療法士	1	100.0	100.0	-	-	-	-
	作業療法士	1	-	-	-	-	100.0	-
	言語聴覚士	1	-	-	-	100.0	-	-
	介護支援専門員	5	-	-	20.0	60.0	20.0	-
	社会福祉士	-	-	-	-	-	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	-	-	-	-	-	-	-
	救急救命士	1	-	-	-	-	100.0	-
	民生委員	6	33.3	33.3	16.7	33.3	16.7	-

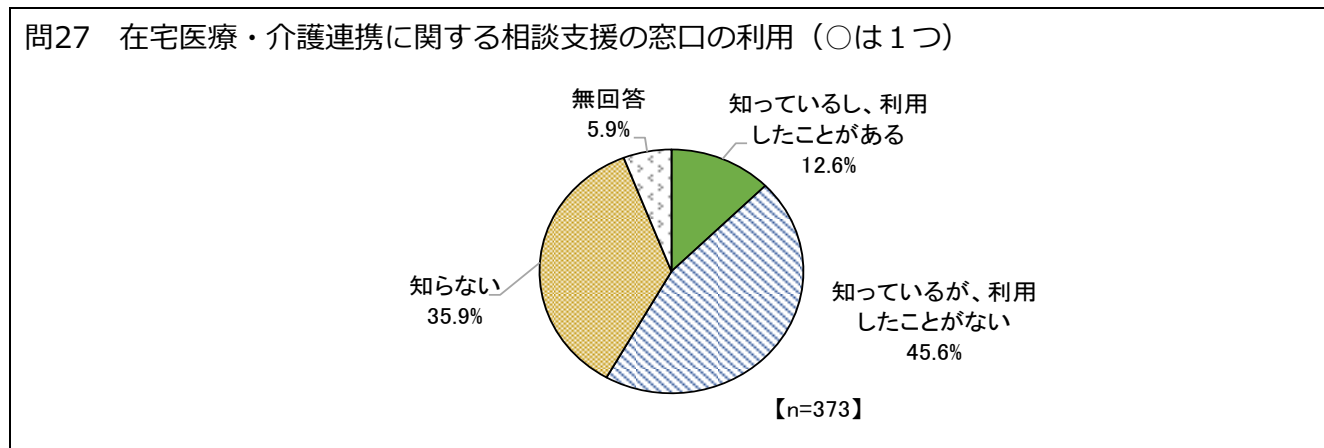
%		問26 満足感を感じられない理由					
		合計	労働・能力に見合う評価が得られないため	職場の人間関係やコミュニケーションが良くないため	内容が自分に合っていないと感じるため	その他	無回答
職種・職務	全体	42	33.3	31.0	14.3	2.4	2.4
	医師	1	100.0	100.0	-	-	-
	歯科医師	-	-	-	-	-	-
	看護師(准看護師含む)	25	36.0	40.0	4.0	4.0	4.0
	保健師	-	-	-	-	-	-
	薬剤師	1	100.0	-	-	-	-
	理学療法士	1	-	-	-	-	-
	作業療法士	1	-	-	-	-	-
	言語聴覚士	1	-	-	100.0	-	-
	介護支援専門員	5	40.0	40.0	40.0	-	-
	社会福祉士	-	-	-	-	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	-	-	-	-	-	-
	救急救命士	1	-	-	-	-	-
	民生委員	6	16.7	-	33.3	-	-

6 今後の取組について

問27 在宅医療・介護連携に関する相談支援の窓口の認知度（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

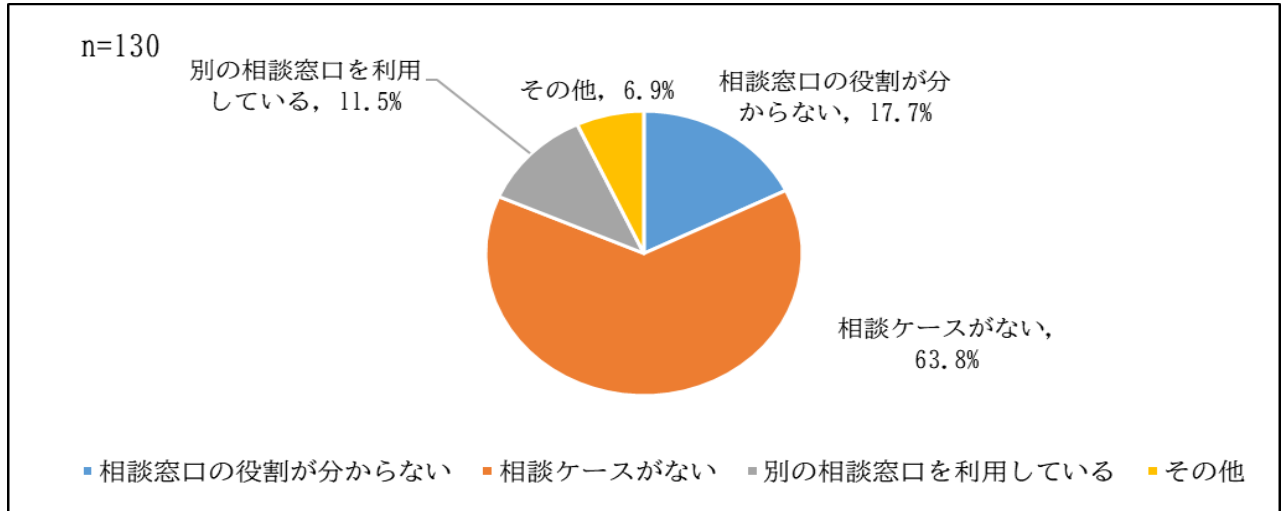


在宅医療・介護連携に関する相談支援の窓口について、知っている割合（「知っているし、利用したことがある」と「知っているが、利用したことがない」の合計）は58.2%となっています。

職種別回答

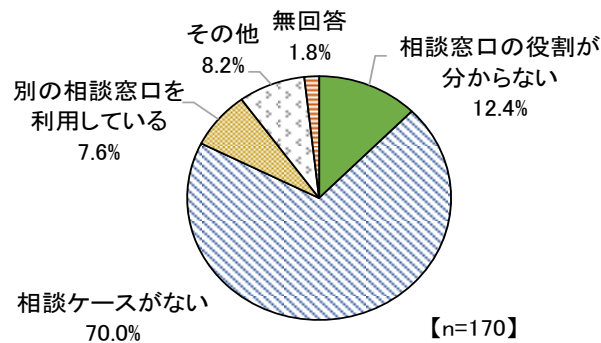
職種・職務	%				
	合計	知っているし、利用したことがある	知っているが、利用したことがない	知らない	無回答
全体	373	12.6	45.6	35.9	5.9
医師	40	22.5	37.5	37.5	2.5
歯科医師	14	-	50.0	42.9	7.1
看護師(准看護師含む)	114	8.8	41.2	43.0	7.0
保健師	11	-	81.8	18.2	-
薬剤師	15	33.3	40.0	26.7	-
理学療法士	9	-	33.3	55.6	11.1
作業療法士	6	-	50.0	50.0	-
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-
介護支援専門員	40	32.5	60.0	5.0	2.5
社会福祉士	6	33.3	66.7	-	-
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	58.3	41.7	-
救急救命士	19	-	36.8	63.2	-
民生委員	84	9.5	42.9	36.9	10.7

問28 相談支援の窓口を利用したことがない理由（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）

問28 問27で「2.知っているが、利用したことがない」と回答した方
利用したことがない理由（○は1つ）

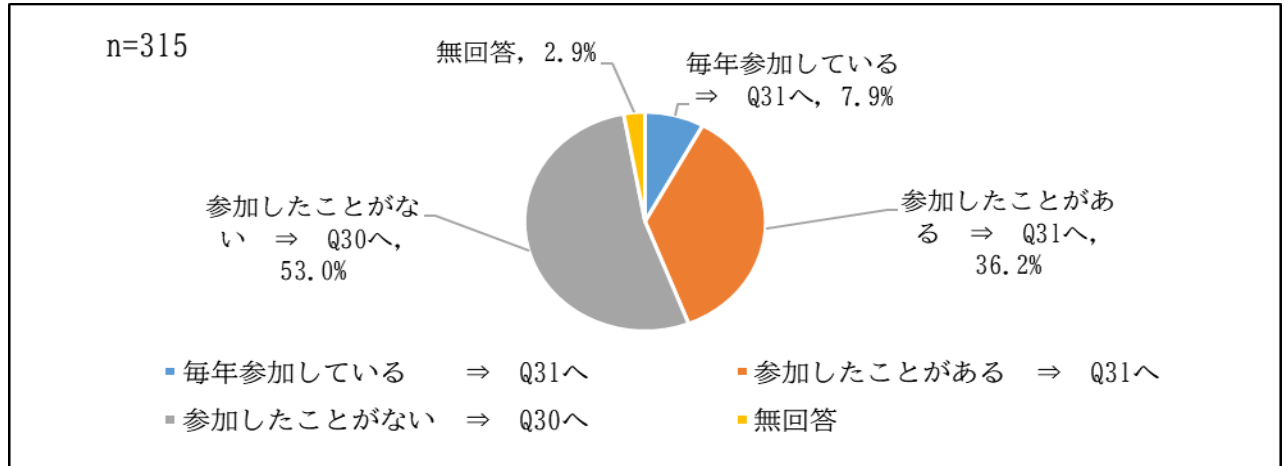


相談支援の窓口を利用したことがない理由については、「相談ケースがない」が70.0%で最も多く、以下、「相談窓口の役割が分からない」が12.4%、「別の相談窓口を利用している」が7.6%となっています。

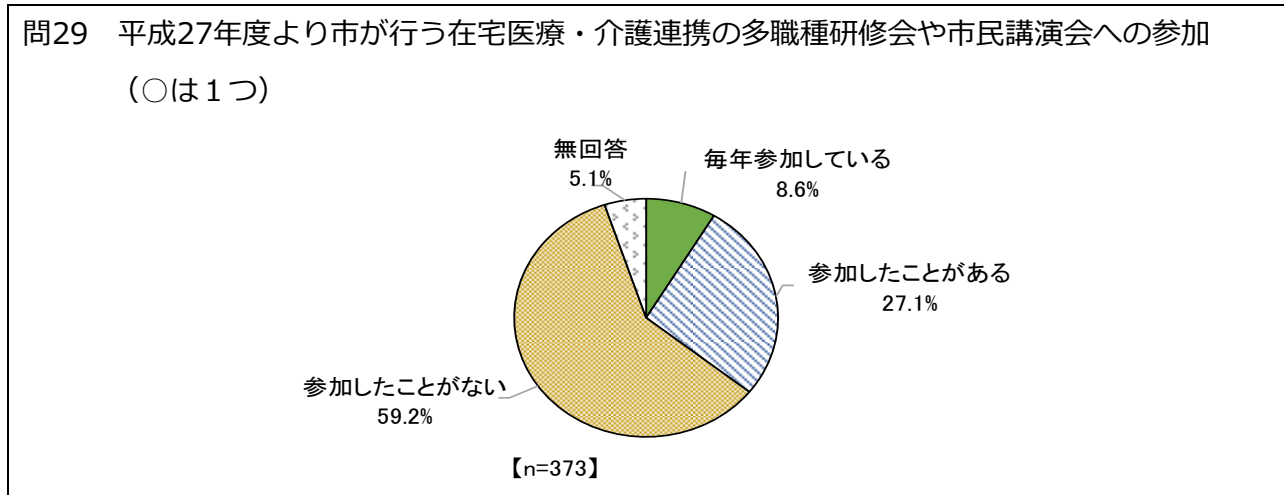
職種別回答

	%					
		合計	相談窓口の役割が分からない	相談ケースがない	別の相談窓口を利用している	その他
全体	170	12.4	70.0	7.6	8.2	1.8
医師	15	6.7	73.3	-	13.3	6.7
歯科医師	7	-	85.7	14.3	-	-
看護師(准看護師含む)	47	12.8	66.0	8.5	8.5	4.3
保健師	9	-	77.8	-	22.2	-
薬剤師	6	33.3	66.7	-	-	-
理学療法士	3	33.3	66.7	-	-	-
作業療法士	3	-	33.3	-	66.7	-
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	-
介護支援専門員	24	29.2	54.2	16.7	-	-
社会福祉士	4	-	-	25.0	75.0	-
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	7	-	71.4	14.3	14.3	-
救急救命士	7	14.3	85.7	-	-	-
民生委員	36	8.3	86.1	5.6	-	-

問29 在宅医療・介護連携の多職種研修会や市民講演会への参加状況（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



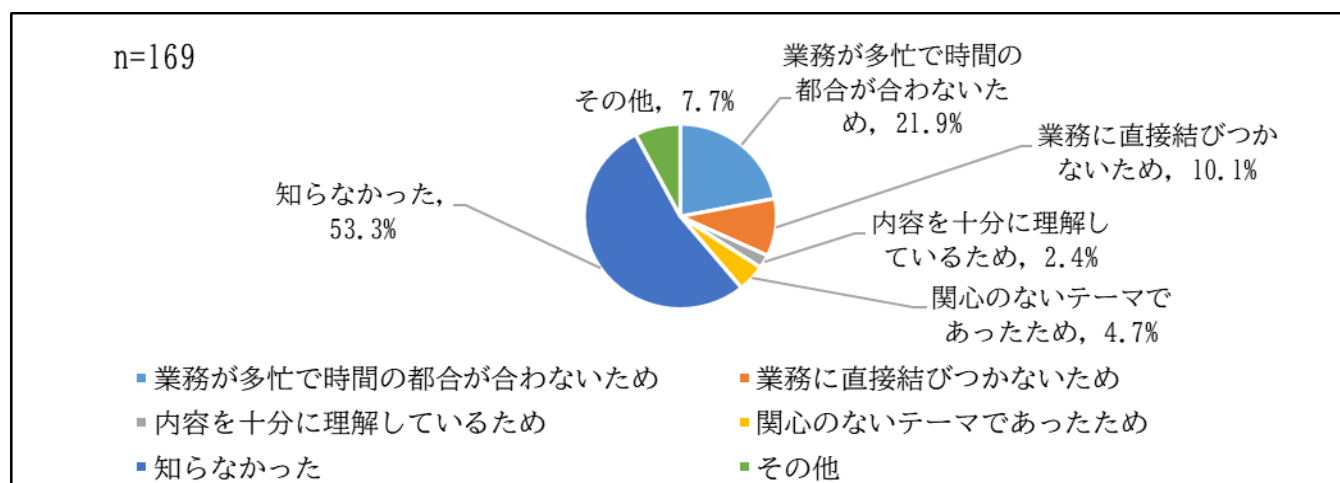
市が行っている在宅医療・介護連携の多職種研修会や市民講演会への参加状況については、「参加したことがない」が59.2%で最も多くなっています。

一方、参加したことがある割合（「毎年参加している」と「参加したことがある」の合計）は35.7%となっています。

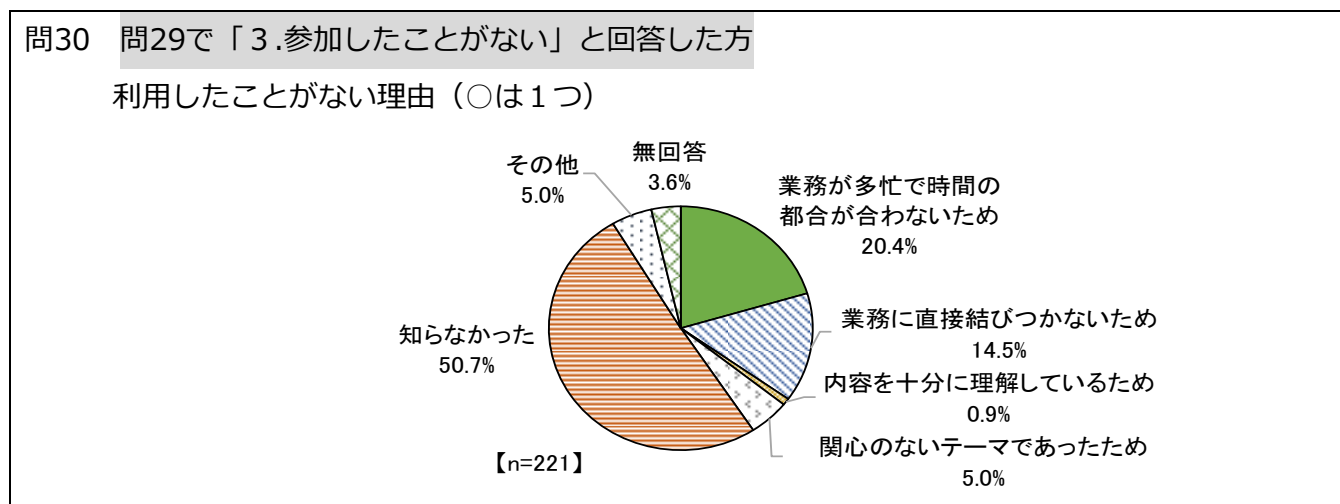
職種別回答

職種・職務	%	参加状況				
		合計	毎年参加している	参加したことがある	参加したことがない	無回答
全体	373	8.6	27.1	59.2	5.1	
医師	40	10.0	15.0	75.0	-	
歯科医師	14	21.4	35.7	35.7	7.1	
看護師(准看護師含む)	114	0.9	17.5	74.6	7.0	
保健師	11	9.1	45.5	45.5	-	
薬剤師	15	13.3	40.0	46.7	-	
理学療法士	9	11.1	22.2	66.7	-	
作業療法士	6	-	33.3	66.7	-	
言語聴覚士	1	-	100.0	-	-	
介護支援専門員	40	37.5	47.5	12.5	2.5	
社会福祉士	6	50.0	33.3	16.7	-	
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	8.3	66.7	25.0	-	
救急救命士	19	-	-	100.0	-	
民生委員	84	1.2	28.6	60.7	9.5	

問30 在宅医療・介護連携の多職種研修会や市民講演会に参加したことがない理由
(令和5年度)



前回調査結果 (令和2年度)

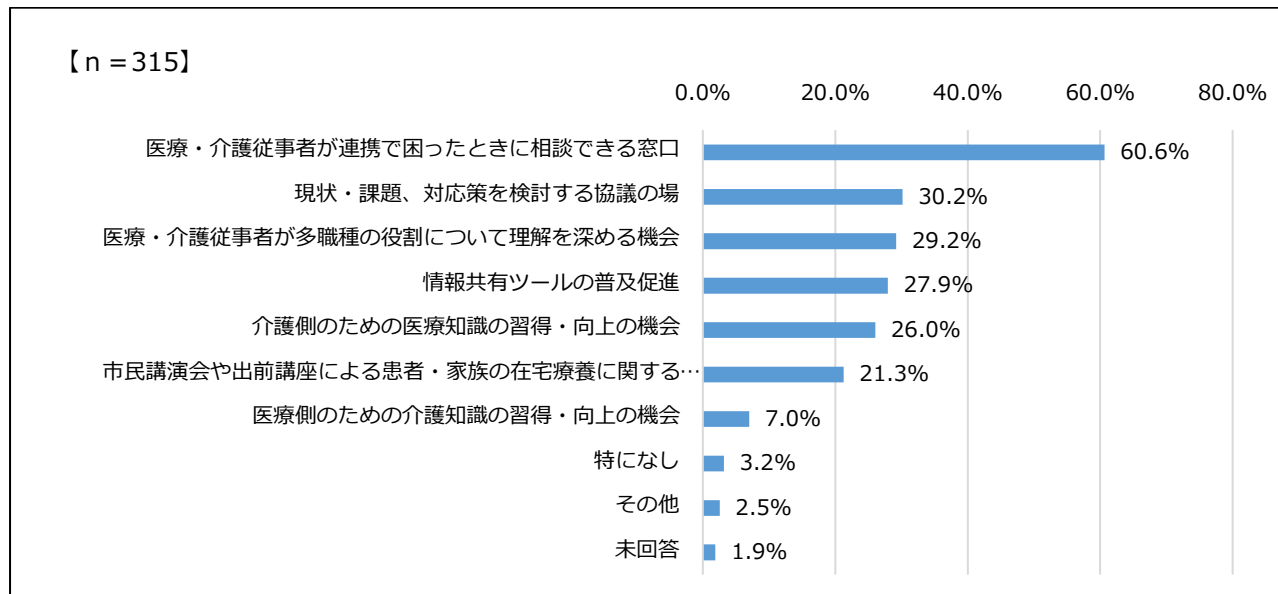


在宅医療・介護連携の多職種研修会や市民講演会に参加したことがない理由については、「知らなかった」が50.7%で最も多く、以下、「業務が多忙で時間の都合が合わないため」が20.4%、「業務に直接結びつかないため」が14.5%、「関心のないテーマであったため」が5.0%などとなっています。

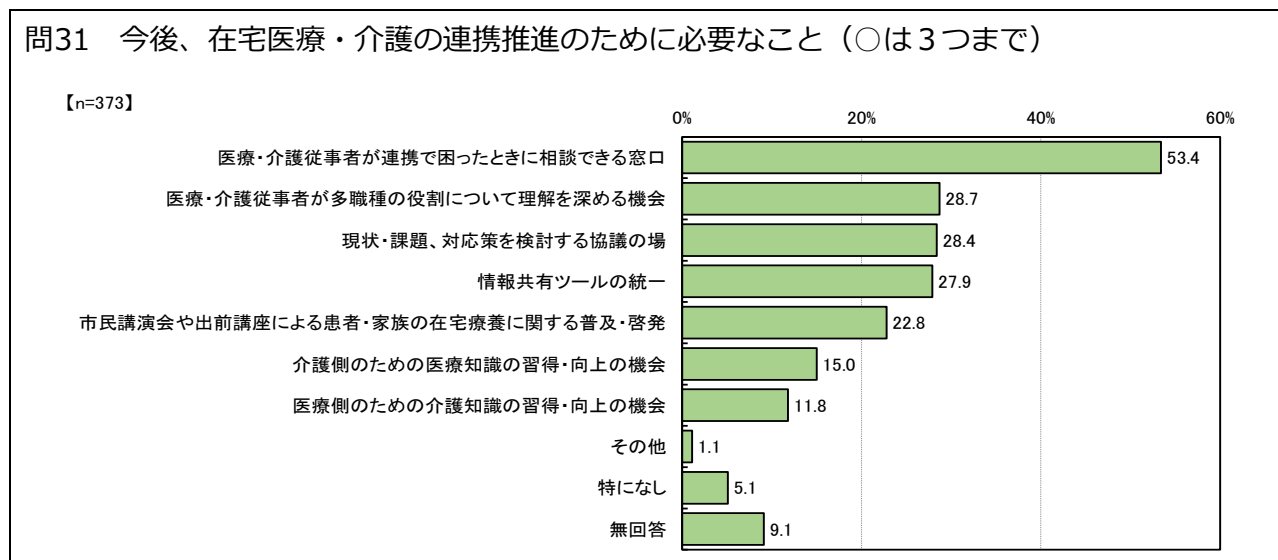
職種別回答

職種・職務	%	理由						
		合計	業務が多忙で時間の都合が合わないため	業務に直接結びつかないため	内容を十分に理解しているため	関心のないテーマであったため	知らなかった	その他
全体	221	20.4	14.5	0.9	5.0	50.7	5.0	3.6
医師	30	33.3	20.0	-	10.0	33.3	-	3.3
歯科医師	5	60.0	-	-	-	20.0	20.0	-
看護師(准看護師含む)	85	18.8	14.1	-	3.5	55.3	3.5	4.7
保健師	5	-	40.0	-	-	40.0	20.0	-
薬剤師	7	57.1	-	14.3	-	28.6	-	-
理学療法士	6	50.0	-	-	-	50.0	-	-
作業療法士	4	-	25.0	-	-	75.0	-	-
言語聴覚士	-	-	-	-	-	-	-	-
介護支援専門員	5	60.0	-	-	40.0	-	-	-
社会福祉士	1	-	-	-	-	100.0	-	-
介護福祉士(初任者研修修了者含む)	3	-	-	-	-	66.7	-	33.3
救急救命士	19	10.5	26.3	5.3	5.3	47.4	-	5.3
民生委員	51	7.8	11.8	-	3.9	62.7	11.8	2.0

問3 1 今後、在宅医療・介護の連携推進のために必要なこと（令和5年度）



前回調査結果（令和2年度）



今後、在宅医療・介護の連携推進のために必要なことについては、「医療・介護従事者が連携で困ったときに相談できる窓口」が53.4%で最も多く、以下、「医療・介護従事者が多職種の役割について理解を深める機会」が28.7%、「現状・課題、対応策を検討する協議の場」が28.4%、「情報共有ツールの統一」が27.9%、「市民講演会や出前講座による患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発」が22.8%などとなっています。

職種別回答

%		合計	医療・介護従事者が連携で困ったときに相談できる窓口	市民講演会や出前講座による患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発	現状・課題、対応策を検討する協議の場	医療・介護従事者が多職種との役割について理解を深める機会	情報共有ツールの統一
職種・職務	全体	373	53.4	22.8	28.4	28.7	27.9
	医師	40	62.5	22.5	30.0	17.5	32.5
	歯科医師	14	50.0	28.6	21.4	35.7	28.6
	看護師(准看護師含む)	114	51.8	21.1	28.1	27.2	25.4
	保健師	11	63.6	27.3	45.5	27.3	36.4
	薬剤師	15	53.3	13.3	26.7	40.0	26.7
	理学療法士	9	33.3	33.3	11.1	33.3	33.3
	作業療法士	6	66.7	-	50.0	50.0	33.3
	言語聴覚士	1	-	-	-	-	100.0
	介護支援専門員	40	52.5	15.0	30.0	55.0	25.0
	社会福祉士	6	50.0	-	33.3	50.0	50.0
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	66.7	16.7	16.7	25.0	16.7
	救急救命士	19	42.1	21.1	31.6	42.1	47.4
	民生委員	84	54.8	33.3	27.4	15.5	22.6

%		合計	医療側のための介護知識の習得・向上の機会	介護側のための医療知識の習得・向上の機会	その他	特になし	無回答
職種・職務	全体	373	11.8	15.0	1.1	5.1	9.1
	医師	40	15.0	5.0	2.5	7.5	2.5
	歯科医師	14	21.4	-	-	7.1	7.1
	看護師(准看護師含む)	114	11.4	12.3	0.9	4.4	14.0
	保健師	11	-	-	-	-	-
	薬剤師	15	26.7	13.3	-	6.7	-
	理学療法士	9	11.1	11.1	-	-	11.1
	作業療法士	6	16.7	16.7	16.7	-	-
	言語聴覚士	1	-	-	-	-	-
	介護支援専門員	40	20.0	30.0	-	7.5	-
	社会福祉士	6	33.3	33.3	-	-	-
	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	12	-	41.7	-	8.3	-
	救急救命士	19	5.3	10.5	-	10.5	5.3
	民生委員	84	6.0	16.7	1.2	3.6	15.5

7 自由記述

	職 種	内 容
1	医師	医師が介護保険意見書を出した患者さんに対し、ケアマネジャー、デイサービス先など、誰がもしくはどの施設が関わっているのか教えて欲しい。 先日も患者さんがコロナ感染して初めて、感染者の出たデイサービス施設に通所しているのがわかったということがあった。ケアマネジャーの名前すら知らないことも多い。医師にもよるのかもしれないが、ケアマネジャーの名前くらいは知っておきたいです。
2	医師	さくらネットが導入され一定数の地域スタッフの登録ができたので、入退院や在宅医療の開始のときなど、急に密な連携が必要になる時に備えて、あらかじめ患者登録を推進してほしい。 また、ネットしか使用できないような大きな災害時の連絡手段として、さくらネットを利用できるように、自宅からでも各スタッフが自分の担当者の情報を見られるように、災害時に限った個人デバイスでの閲覧の許可などセキュリティ要件の緩和も検討が必要かもしれない。
3	医師	医療介護従事者の人材不足によるサービス提供の困難さは、情報共有によりある程度改善できる可能性があると思います。一方でBCP策定の必要性を考えた場合、現状の情報共有システムのあり方を再検討していく事が求められると思います。
4	歯科医師	よくやってくれていると思います。下意上達が大切です。
5	介護支援専門員	桜川市だけではなく日本全体に渡り介護職の地位の現状は十分に理解されていると十分思っていますが、では、なぜ介護が必要と分かってから依然として地位向上がなされていない事は理解されていると思う。どうせ意見を述べても改善は得られないと思うが、人が人をサービスする仕事は究極の最高なサービスとして自負して仕事をしている。
6	介護支援専門員	多職種間で協働して、住み慣れた桜川市で安心して暮らしていける地域作りをしていきたいです
7	介護支援専門員	地域医療センターへの救急車要請を断られることがある。市民のためもう少し柔軟に対応して頂ければありがたい。
8	介護支援専門員	定期巡回随時対応型訪問介護看護施設があればと思います。

	職 種	内 容
9	介護支援専門員	多職種相互の理解があつての協力だと思つるので研修、勉強会等、交流を重ねたいところですが、子育てや家族の介護などで夕方から夜、土日の参加が難しいので、2部構成で日中も参加できると良い。情報共有ツールも地域で統一されていて、PC作成できると良い。(共通認識、理解が増えるのでは)
10	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	ケアマネジャーの理解が不足。一方的が多い。
11	介護福祉士(初任者研修修了者含む)	桜川市で介護職に携わるようになってまだ数ヶ月のため、これから情報収集、共有して連携を図っていかれたらと思います
12	看護師(准看護師含む)	医療・介護は連携と思いやりだと思ふ。誰も好きで都合が悪くなっている訳ではない。安心して最低の生活ができる様、必要時に必要な医療、介護がお互い無理なくできることが願ひです。
13	看護師(准看護師含む)	市からの要請で緊急入所が多いグループホームに入職してますがグループホームで対応出来る方か?見極めてから打診してほしい。空床なくてもショートで受けたりと経営者は喜んで面倒みるのは私達です。グループホームレベルか?精神科レベルか?専門的な面から判断してほしい。
14	看護師(准看護師含む)	介護保険ケアマネ契約時にカナミックの申請も出来ると情報共有がスムーズに出来ると思ふ。多職種の連携出来る場を多く持ち、情報、相談等出来ると市全体で支えられると思ふ。
15	看護師(准看護師含む)	市の職員、医療介護従事者たちが市民のために力を入れて良く働いてくれているとおもいます。頭が下がります。
16	看護師(准看護師含む)	在宅療養や災害対策など、民生委員の方を交え多職種連携が必要と思ひます

	職 種	内 容
17	看護師（准看護師含む）	受け入れ先の病院が少なかったり、対応できる診療科が少ないとおもいます。 在宅医療や在宅での看取りなどにおいても、医療を知らない人たちがそのような情報や知識などを知ることが出来る機会が少ないのではないかと感じています。 入院した時など、ADL 低下してしまった場合や、今まで通りの生活が困難になってしまうと家族が感じたときなど、相談しやすい環境だったり、そこに寄り添って対応できるスタッフが少なく感じます。
18	救急救命士	桜川市とさくらがわ地域医療センターがより連携をとっていただき、さくらがわ地域医療センターが二次医療機関になって頂きたいと思います。
19	社会福祉士	今どきの医療と介護の課題や課題への取り組みについて、行政も含めて学んでほしいし、見識を広くしていただき、具体的な対応について、在宅医療・介護の連携事業の中で推進いただきたいと思います。
20	民生委員	高齢者のみの家庭が多くなっています。優しく寄り添ってくれる、訪問医療介護のサービスが、益々必要になってきます。
21	民生委員	このアンケート調査の結果をご連絡いただけるとありがたいです。お手数ですがよろしくお願いします。
22	民生委員	今後ますます介護が必要な方が増えます。介護認定にかかわらず、安心して介護生活が送れるようにしてほしい。
23	民生委員	高齢者を対象とした医療介護の制度はとても充実していると思います。こんご、少子高齢化が進む中で現行の制度維持は困難ではと心配しています。民生委員としては活動していますがアンケート対象になるような他職種との連携はありません。
24	民生委員	日曜祝日等具合が悪くなった時に見て下さるところが少ないと思います。不思議なことに子供は夜や医療機関が休見の時に具合が悪くなる時が多いです。
25	民生委員	市で行なっていること、行おうとしていることが、医療介護を受けるようになるまで分からないのではと思う。高齢になった時、どのような医療介護サービスを行政として準備しているのか、概要が分かるような PR が必要だと思います。

	職 種	内 容
26	民生委員	市全体、3地区の実情が知りたいが、統計的データはありますか。
27	民生委員	民生委員は他の職業に殆ど携わっていない為現在交流することはないと思う。自分の地区の方々との連携が大変不可欠であると思います。社会福祉課、介護、年金課には色々と以前にお世話になりました。が、さっぱり業務内容を知らない市役所の方がいました。
28	民生委員	独居老人の緊急時の速やかな医療体制がどこまで確立しているのか、
29	民生委員	家族などの介護者の状況を考慮した介護認定が行われていないと思います。ヤングケアラーの問題も絡んでいます。まだまだ介護される人の状態だけを考慮した介護認定になっていると思います。また、食の質の悪さが医療に頼る人の増加につながっています。人への依存が多いのは現代日本の甘えの構造になっているのではないのでしょうか。（健康を維持する努力より、何もしない楽を選ぶ人が多い）
30	民生委員	民生委員として医療、介護について知識を習得したい。
31	民生委員	市直轄の医療センターを作ってもらいたい。
32	民生委員	市民へのより一層の周知と充実感への体制作りの強化を期待しています
33	民生委員	介護、見守りが必要な方々が、気軽に相談できる選択肢をいかに増やすか、情報の周知が必要だと思う。
34	民生委員	過去に同様の調査を実施している。調査票が、専門職用となっているが、民生委員には的外れでは。民生委員用を作るべきと思う。

Ⅲ 資料

調査票

桜川市

在宅医療・介護連携に関するアンケート調査票（専門職用）

【回答欄の中で当てはまる数字に○をつけて下さい。「その他」等を選択した場合、（ ）内に具体的に記入して下さい。】

No	問	質問内容	回答
1 回答者について	1	現在、主に従事している職種 (又は職務) (○は1つ)	1. 医師 2. 歯科医師 3. 看護師(准看護師含む) 4. 保健師 5. 薬剤師 6. 理学療法士 7. 作業療法士 8. 言語聴覚士 9. 介護支援専門員 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士(初任者研修 修了者含む) 12. 救急救命士 13. 民生委員
	2	勤務先 (○は1つ)	1. 病院 2. 一般診療所 3. 歯科診療所 4. 訪問看護ステーション 5. 薬局 6. 介護老人福祉施設 7. 介護老人保健施設 8. 有料老人ホーム 9. サービス付き高齢者向け住 宅 10. ケアハウス 11. 訪問介護事業所 12. 訪問入浴介護事業所 13. 訪問リハビリ事業所 14. 居宅介護支援事業所 15. 地域包括支援センター 16. 在宅介護支援センター 17. 消防署 18. その他 ()
	3	年齢 (○は1つ)	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上
	4	現在、主に従事している職種 (又は職務)の経験年数 (○は1つ)	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満 4. 20年以上30年未満 5. 30年以上

2 多職種連携について	5	日々の業務の中で他の職種と話し合い、情報共有できる関係が築けていますか。 (○は1つ)	1. 築けている 2. やや築けている 3. あまり築けていない 4. 築けていない
	6	現在、よく連絡している連携先 (○は最大3つまで)	1. 病院 2. 一般診療所 3. 歯科診療所 4. 訪問看護ステーション 5. 薬局 6. 介護老人福祉施設 7. 介護老人保健施設 8. 有料老人ホーム 9. サービス付き高齢者向け住宅 10. ケアハウス 11. 訪問介護事業所 12. 訪問入浴介護事業所 13. 訪問リハビリ事業所 14. 居宅介護支援事業所 15. 地域包括支援センター 16. 在宅介護支援センター 17. 消防署 18. 市役所 19. その他 ()
	7	連携をとりやすい職種 (○は最大3つまで)	1. 医師 2. 歯科医師 3. 看護師 4. 保健師 5. 薬剤師 6. 理学療法士 7. 作業療法士 8. 言語聴覚士 9. 介護支援専門員 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士 12. 救急救命士 13. 民生委員 14. 事務職
	8	連携をとりやすい理由 (○は最大3つまで)	1. 自分の職種（職務）の内容を十分に理解している為 2. 必要な情報の共有ができる為 3. 役割分担が明確である為 4. 目的が一致している為 5. 日頃から連携している為 6. その他 ()
	9	問7で選択した職種に対して、約5年前に比べ連携する機会の増減 (○は1つ)	1. 非常に増えている 2. 増えている 3. 変わらない 4. 減っている 5. 非常に減っている
	10	連携をとりにくい職種 (○は最大3つまで)	1. 医師 2. 歯科医師 3. 看護師 4. 保健師 5. 薬剤師 6. 理学療法士 7. 作業療法士 8. 言語聴覚士 9. 介護支援専門員 10. 社会福祉士 11. 介護福祉士 12. 救急救命士 13. 民生委員 14. 事務職
	11	連携をとりにくい理由 (○は最大3つまで)	1. 自分の職種（職務）の内容を十分に理解していない為 2. 必要な情報の共有がしづらい為 3. 役割分担が明確でない為 4. 目的が一致していない為 5. 日頃から連携していない為 6. その他 ()
	12	問10で選択した職種に対して、約5年前に比べ連携する機会の増減 (○は1つ)	1. 非常に増えている 2. 増えている 3. 変わらない 4. 減っている 5. 非常に減っている

3 会議への出席について	13	病院からの退院前カンファレンス出席の要請 (〇は1つ)	1. 要請されたことがある ⇒問14へ 2. 要請されたことがない ⇒問15へ	3. 要請することはあるが、要請されることはない ⇒問15へ 4. 関わることはない ⇒問15へ
	14	(問13で1と回答した方のみ) 病院から退院前カンファレンスへの出席を要請された際の対応 (〇は1つ)	1. 必ず出席している 2. 概ね出席している	3. あまり出席していない 4. 出席していない
	15	ケアマネジャーからのサービス担当者会議出席の要請について (〇は1つ)	1. 要請されたことがある ⇒問16へ 2. 要請されたことがない ⇒問17へ	3. 要請することはあるが、要請されることはない ⇒問17へ 4. 関わることはない ⇒問17へ
	16	(問15で1と回答した方のみ) ケアマネジャーからサービス担当者会議の出席を要請された際の対応について (〇は1つ)	1. 必ず出席している 2. 概ね出席している	3. あまり出席していない 4. 出席していない
4 急変時 対応・看取りについて	17	急変時の対応について問題を感じることもある (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない 6. 関わることはない
	18	急変時に受け入れてくれる病院がないと感じる (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない 6. 関わることはない
	19	急変時の対応について、ケースに関わる多職種間での情報共有ができていない (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない 6. 関わることはない
	20	24時間対応可能な地域の医療資源(訪問診療、訪問看護など)が不足していると感じる (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない
	21	24時間対応可能な地域の介護資源(訪問介護など)が不足していると感じる (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない
	22	看取りケースを担当することに、不安や負担を感じることもある (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない 6. 関わることはない
	23	今後、看取りケースを増やしていくことができる (〇は1つ)	1. 非常にそう思う 2. そう思う 3. どちらとも言えない	4. そう思わない 5. 全くそう思わない 6. 関わることはない

5 従事者満足度について	24	仕事（職務）への満足感 (○は1つ)	1. 感じている ⇒問25へ 2. やや感じている ⇒問25へ 3. どちらともいえない ⇒問27へ	4. あまり感じていない ⇒問26へ 5. 感じていない ⇒問26へ
	25	(問24で1又は2と回答した方のみ) 満足感を感じられる理由 (○は最大3つまで)	1. やりがいを感じるため 2. 達成感を感じるため 3. 労働・能力に見合う報酬・賃金が得られるため 4. 労働時間・労働条件が整っているため	5. 労働・能力に見合う評価が得られるため 6. 職場の人間関係やコミュニケーションが良好なため 7. 内容が自分に合っていると感ずるため 8. その他 ()
	26	(問24で4又は5と回答した方のみ) 満足感を感じられない理由 (○は最大3つまで)	1. やりがいを感じないため 2. 達成感を感じないため 3. 身体的負担が大きい 4. 精神的負担が大きい 5. 労働・能力に見合う報酬・賃金が得られないため 6. 労働時間・労働条件が整っていないため	7. 労働・能力に見合う評価が得られないため 8. 職場の人間関係やコミュニケーションが良くないため 9. 内容が自分に合っていないと感ずるため 10. その他 ()
6 今後の取組について	27	※在宅医療・介護連携に関する相談支援の窓口の利用 ※市より医療法人隆仁会（さくらがわ地域医療センター指定管理者）へ業務委託し、医療・介護従事者等からの相談に対応しています。） (○は1つ)	1. 知っているし、利用したことがある ⇒問29へ 2. 知っているが、利用したことがない ⇒問28へ	3. 知らない ⇒問29へ
	28	(問27で2と回答した方のみ) 利用したことがない理由 (○は1つ)	1. 相談窓口の役割が分からない 2. 相談ケースがない	3. 別の相談窓口を利用している 4. その他 ()
	29	市が行う在宅医療・介護連携の多職種研修会や市民講演会への参加 (○は1つ)	1. 毎年参加している ⇒問31へ 2. 参加したことがある ⇒問31へ	3. 参加したことがない ⇒問30へ
	30	(問29で3と回答した方のみ) 参加したことがない理由 (○は1つ)	1. 業務が多忙で時間の都合が合わないため 2. 業務に直接結びつかないため 3. 内容を十分に理解しているため	4. 関心のないテーマであったため 5. 知らなかった 6. その他 ()
	31	今後、在宅医療・介護の連携推進のために必要なこと (○は最大3つまで)	1. 医療・介護従事者が連携で困ったときに相談できる窓口 2. 市民講演会や出前講座による患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発 3. 現状・課題、対応策を検討する協議の場 4. 医療・介護従事者が多職種の役割について理解を深める機会	5. 情報共有ツールの普及促進 6. 医療側のための介護知識の習得・向上の機会 7. 介護側のための医療知識の習得・向上の機会 8. その他 ()
32	市の医療・介護について、ご意見がございましたらご記入ください。 (自由記載)			

これで質問は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。